

専門(多肢選択式)試験問題

注意事項

1. 問題は次の 16 科目(各科目 5 題ずつ計 80 題, 89 ページ)あります。
このうち任意の 8 科目(40 題)を選択し, 解答してください。

科 目	題 数	問 題 番 号	
政 治 学	5 題	No. 1~No. 5	8 科目 40 題選択解答
行 政 学	5 題	No. 6~No. 10	
憲 法	5 題	No. 11~No. 15	
行 政 法	5 題	No. 16~No. 20	
民法(総則及び物権)	5 題	No. 21~No. 25	
民法(債権, 親族及び相続)	5 題	No. 26~No. 30	
ミ ク ロ 経 済 学	5 題	No. 31~No. 35	
マ ク ロ 経 済 学	5 題	No. 36~No. 40	
財 政 学・経 済 事 情	5 題	No. 41~No. 45	
経 営 学	5 題	No. 46~No. 50	
国 際 関 係	5 題	No. 51~No. 55	
社 会 学	5 題	No. 56~No. 60	
心 理 学	5 題	No. 61~No. 65	
教 育 学	5 題	No. 66~No. 70	
英 語 (基 礎)	5 題	No. 71~No. 75	
英 語 (一 般)	5 題	No. 76~No. 80	

なお, 8 科目を超えて解答しても超えた分については採点されません。

2. 解答時間は 3 時間です。
3. この問題集は, 本試験種目終了後に持ち帰りができます。
4. 本試験種目の途中で退室する場合は, 退室時の問題集の持ち帰りはありませんが, 希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお, 試験時間中に, この問題集を切り取ったり, 転記したりしないでください。
5. 下欄に受験番号等を記入してください。

第 1 次試験地	試験の区分	受験番号	氏 名
----------	-------	------	-----

指示があるまで中を開いてはいけません。

No. 1～No. 5は**政治学**です。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 1】 市民革命期以降の政治思想に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 功利主義の立場に立つJ. ベンサムは、人々が快樂(幸福)を求め苦痛(不幸)を回避するという原理で行動する存在であるという前提の下、快樂(幸福)を増大するものが善であるという立場に立っており、「最大多数の最大幸福」を実現することが統治の目的であるとした。
2. T. グリーンの主張は、「古典的自由主義」と呼ばれ、必ずしも外的拘束や制約が存在しないことが自由ではないとした上で、自由主義の完成のためには、人格の成長ではなく経済的成長を妨げる障害を国家が排除すべきであるとした。
3. J. ロールズは、全ての人は平等に、最大限の基本的自由を持つべきであり、ある人間の基本的自由を制約することは、社会・経済的不平等の解消が必要な場合にのみ許容されるとし、他者の基本的自由を擁護するために自由を制約することは許されないとした。
4. リバタリアニズムの論者であるF. ハイエクは、「計画主義的思考」を持ち、市場は、それ自体が一定の規則性をもって機能する「自生的秩序」を有するものではないため、市場の失敗を意図的にコントロールする試みは有益であると主張した。
5. G. ヘーゲルは、国家の全体秩序を「市場」、「市民社会」、「国家」の三つに分けた上で、市民社会を「欲求の体系」、「司法活動」、「職能団体」の三つから成るものとし、市民社会における個人の自由を否定した。

【No. 2】 民主主義に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. アリストテレスは、人間は私的な決定に参加することで自己の潜在能力を実現できるという思想を持ち、民主政を、貧しい者たちが数の力による主張をすることができる秩序のある政治体制であると捉えた。
2. A. トクヴィルは、民主主義という制度には、少数のエリートが多数者の権利を蹂躪する「エリートによる暴政」をもたらす危険性が内在しており、個人の自由を破壊しかねないとして、民主主義と自由とが共存することは不可能であると主張した。
3. J. シュンペーターは、民主主義を、有権者が選挙を通して意思決定を行う「人民の意志」によるものだとして、政治家による統治を否定し、民主主義とエリート主義が両立することはないと主張した。
4. R. ダールは、従来のデモクラシー概念は、現実の状態と理想の状態の双方を指しているため混乱を招くと指摘し、表現の自由や自由な選挙の保障などのリベラル・デモクラシーとして最低限の条件を満たす体制を「ポリアーキー」と名付けた。
5. C. モンテスキューに代表される参加民主主義論は、民主主義の根幹は、民衆が自分たちで自分たちに関わる事柄を決めるという自己決定にあるとし、選挙による代表の選出こそが民主主義の本質であるという立場を取っている。

【No. 3】 国家と権力に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. M. ヴェーバーは、『職業としての政治』において、国家を、「ある一定の領域の内部で、最も強力な物理的強制力を持つ共同体」と定義した。したがって、国家運営に携わる政治家は、権力行使がもたらす結果に責任を持つとするのではなく、あらかじめ権力行使の抑制に努力すべきだと彼は論じた。
2. T. ホブズは、『君主論』において、人間の自己中心性を強調し、「自然状態」においては「万人の万人に対する闘争」と呼ばれる悲惨な状況が生まれると説いた。ホブズによれば、この闘争を最終的に勝ち抜いた集団が、支配権を正当化するため、「主権者」を名乗るようになったのが国家の始まりである。
3. S. ルークスは、非決定、すなわち潜在的争点の顕在化を阻止するために決定が回避されるという形で権力が行使されるとする議論を「二次元的権力観」と呼び、自身の「三次元的権力観」と区別した。三次元的権力観では、非決定による不利益が当事者に意識されることすらないという形で権力行使に注目する。
4. C. W. ミルズは、『統治するのは誰か』において、米国政府における政治的な意思決定が、軍部と一部の大企業経営者によって支配されている実態を明らかにした。ミルズによれば、米国の政治では、大統領を始めとする政治家が政策決定にほとんど影響を及ぼしておらず、民主主義的とはいえない。
5. M. フーコーによれば、近代以前における権力は、主として権力作用を受ける側が自分で自分を規律するように仕向ける形で行使されていたが、市民革命を経験した近代国家では、軍隊や刑務所がそうであるように、規律による間接的な管理ではなく、より直接的な暴力による権力行使が正当化されるようになった。

【No. 4】 利益団体に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. D. トルーマンは、工業化や都市化といった社会的分化が利益と価値の分断を生み、団体の活動を一般に弱めていると主張した。また彼は、社会変動に伴って既存の社会勢力間の均衡が崩れるとき、優位に立つ社会集団の側が、その地位を利用して組織化や圧力活動を強め、一層有利になると考えた。
2. M. オルソンは、個人が合理的に行動することを前提にする合理的選択論の立場から、団体形成の自動性を否定した。彼によると、大規模な利益団体が形成されるためには、人々の間に共通の利益があるだけでは不十分で、加入者に選択的誘因を与えるなどにより、集合行為問題が解決される必要がある。
3. 「政治的企業家」とは、団体の創設時に、他の構成員に多くの負担を引き受けさせることのできる、強いリーダーシップを持った人を指す。政治的企業家自身は、団体形成のためのコストを負担しない一方、社会的な知名度や地位を求めるわけではないため、構成員からの自発的な協力を引き出せると考えられる。
4. 我が国では、第二次世界大戦後、一貫して労働組合の組織率が高く、単一のナショナル・センターによって労働運動が統合されてきた。また、1980年代までは、労働団体は政府や経営者団体と緊密に連携し、良好な賃金水準と低失業率を達成してきた。そのため、我が国の政治経済体制は「労働中心のコーポラティズム」と呼ばれる。
5. 我が国の政治資金規正法の規定によると、政治団体を除く会社・労働組合等の団体は、一定金額の範囲内でのみ、公職の候補者に直接寄附することができる。会社・労働組合等の団体は、政党に対しては無制限に寄附することができる一方、寄附金額を年度ごとに総務大臣に報告する義務がある。

【No. 5】 第二次世界大戦後の我が国の内閣に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 吉田茂内閣は、昭和 26(1951)年に米国、英国、中華民国等との間で平和条約を締結し、連合国による日本の占領統治を終わらせた。また、吉田内閣は、昭和 29(1954)年、平和条約に調印していなかったソビエト連邦とも日ソ共同宣言によって国交を回復し、同年中に国際連合への加盟を果たした。
2. 池田勇人内閣は、昭和 35(1960)年に「国民所得倍増計画」を国会で法制化した。この計画に基づき、政府は太平洋ベルト地帯等の工業開発を進めた結果、各地で公害が深刻な問題となった。これに対応するため、池田内閣は、昭和 39(1964)年に公害対策基本法を成立させ、環境庁を設置した。
3. 田中角栄内閣は、石油危機後のインフレーションを抑制し、景気を回復させるため、公共事業を拡大するなど「日本列島改造論」に基づく積極財政政策を採った。田中内閣は、外交面では昭和 47(1972)年に、中華人民共和国との間で日中平和友好条約を締結し、国交回復を果たした。
4. 中曽根康弘内閣は、財政再建のため、第二次臨時行政調査会の答申に基づいて行政改革を推進し、日本国有鉄道(国鉄)など三公社の民営化を行った。また、中曽根内閣は、昭和 62(1987)年に売上税の導入を柱とする税制改革関連法案を国会に提出したが、野党等の反対が強く、同法案は不成立に終わった。
5. 細川護熙内閣は、平成 6 (1994)年に政治改革関連法を成立させた。これにより、衆議院の選挙では小選挙区比例代表並立制が新たに採用され、参議院の選挙では全国区が廃止された。また、細川内閣は、GATT(関税及び貿易に関する一般協定)ウルグアイ・ラウンドにおいて、コメの輸入の完全自由化を決定した。

No. 6～No. 10は行政学です。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 6】 行政学の学説に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. F. テイラーは、テイラー・システムと称される管理法を考案したが、その中の一つの手法である「機能別職長制度」は、工場労働者を第一線で監督する一人の「職長」に複数の監督機能を集中させるものであり、同制度は古典的組織論の組織編成原理と合致するものとして現場で広く採用された。
2. D. ワルドーは、1940年代から隆盛化した機能的行政学を批判し、アメリカ行政学を、米国に独特の経済的、社会的、政治的、イデオロギー的事実から切り離れた上で、米国以外の国にも適用できるような科学的な理論を追求する必要性を主張した。
3. 村松岐夫は、日本の行政の特徴として「最大動員」の概念を提示した。村松は、「最大動員」を「規則による責任志向の管理」に対する「目標による能率志向の管理」と定義し、人員や予算や権限といった、行政に利用できる様々なリソースが能率的に使用されていることを示した。
4. H. サイモンは、組織の構成員に対し、組織の参加への十分な動機づけを組織が与えることによって組織が維持されることを指摘し、組織の構成員が組織に満足し、組織に所属し続けている状態を「経済的」と称した。
5. 真淵勝は、米国の連邦公務員の昇進管理に注目し、「二重の駒型」昇進モデルを示した。そこでは、採用時の区分によって昇進スピードが違ふことが示され、それと併せて、幹部候補職員も一定のレベルまでは同時昇進が行われ、その後ピラミッド型の厳しい競争が行われることが示された。

【No. 7】 我が国の中央政府の行政システムに関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 内閣府と各省の内部部局の在り方については国家行政組織法によって細かく規定されており、同法第7条では、府省の所掌事務を遂行するために官房と課を必ず置くこととされており、局については任意で置くことができるとされている。
2. 府省の組織には、局長や部長といった職とは別に、スタッフ職として審議官などの名称の総括整理職が官房や局などの所掌事務に関して必要に応じて調整・補佐・助言することを目的として置かれている。
3. 府省には外局として庁が設置されており、庁は府省から独立して特定の事務を行うため、庁の長官には独自の権限行使が認められている。かつては長官を国务大臣が務める庁が存在し、大臣庁と称されていたが、平成13(2001)年の中央省庁再編の際に大臣庁は全て府省に統合され、消滅した。
4. 重要政策課題について専門家を中心に第三者的に議論を行うため、各省には国家行政組織法第8条に基づき個別の省令によって審議会等が設置されている。1990年代後半から政策決定の専門性が重要視されてきたことから、平成13(2001)年の中央省庁再編を契機に審議会等が新設され、政府全体で審議会等の数は中央省庁再編前に比べて倍増することとなった。
5. 特殊法人とは国が特別の法律で設置した法人であり、全ての特殊法人は総務省によって所管されている。特殊法人は担当事業について企業的経営を行うことから、事業計画の決定について総務省は関与することができず、特殊法人は総務省から一定程度独立していることが指摘されている。

【No. 8】 政策実施に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 政策実施に関する研究は 1980 年代後半に始まり、J. L. プレスマンと A. ウィルダフスキーの著書『実施』では、米国の州政府が独自に決定し実施した金融政策によって州の金融機関が倒産したことに注目し、州政府における政策の実施過程について分析を行った。
2. 政策実施研究のボトムアップ・アプローチは中央政府の政策立案担当者に注目した研究であり、そこでは、政策決定と政策実施を区分した上で、実施機関や利害関係者といった政策現場のアクターとの交渉による政策内容の変化を分析したものである。
3. 教員や警察官といった政策の現場で一般市民と接する「第一線職員」は業務に関する専門知識に欠けるため、それらの第一線職員の業務の評価においては、事案の処理件数といった一定の評価基準を設定する方が望ましいことが第一線職員に関する研究では指摘されている。
4. C. フッドは、規制の違反者の類型化と違反者への対応戦略の類型化を行い、規制措置の実施を知らなかった、あるいは緊急事態等でルールを遵守できなかったという、故意のない違反者に対しては、政府が不利益処分などをする「制裁」という手段よりも、政府が当該規制に関する情報を与える「周知」という手段の方が、違反の抑止に有効であることを指摘している。
5. 行政指導は行政機関が強制力を伴わない形で事業者や住民を説得する手段であるが、行政手続法では行政指導が明確に定義されていないため、我が国の地方公共団体では行政指導は行われず、法に基づいた命令等によって不利益処分が行われてきたことが北村喜宣によって指摘されている。

【No. 9】 我が国と諸外国における行政改革に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 佐藤栄作内閣で設置された第一次臨時行政調査会は、第二次世界大戦後の新しい行政需要に対応するための抜本的な行政改革を行うため、11名の委員以外にも専門委員、調査員から構成される大規模な調査審議機関となり、その後の行政改革のモデルとなった。
2. 橋本龍太郎内閣で設置された行政改革会議では、同会議の設置法で示されたように、内閣機能強化や中央省庁再編を始めとした公的部門の様々な改革が検討され、その中の一つとして、各省庁の組織規制の弾力化が最終報告で提言され、同提言を基に国家行政組織法が改正された。
3. 米国の B. オバマ政権では、「国家業績レビュー(NPR)」の最終報告書を基に多様な改革が実施されたが、政府組織に関しては、NPM型改革を一層進めることを目的として、政府組織を連携させる「連結政府(連携政府)」の概念が提示され、組織連携の取組が進められた。
4. 経済不況に直面していた英国の M. サッチャー政権では、経済政策をマネタリズムからケインズ主義へと大きく転換した上で、公的部門の改革にも着手し、その中で、VFM(Value for Money)の基本理念の下、民間の資金や技術を公共施設の整備・管理に活用するPFIを導入することとなった。
5. 経済・財政状況が悪化していたニュージーランドでは、1984年に D. ロンギ労働党政権が誕生し、財務省主導の下で改革が進められ、各種産業の規制の緩和・撤廃、国有企業の民営化、政府機構改革を始めとした急進的な改革が世界で注目された。

【No. 10】 我が国の地方自治に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 都道府県知事又は市町村長(首長)が、議会における条例の制定若しくは改廃又は予算に関する議決について異議がある場合、原則としてその議決の送付を受けた日から30日以内に理由を示して議会に通知することができる。当該通知を受けた議決に関する原案は直ちに廃案となるため、首長は条例の制定や予算に関し強い拒否権を有しているといえる。
2. 都道府県又は市町村の議会において、議員数の3分の2以上が出席し、出席議員の過半数の同意があれば、首長の不信任の議決をすることができる。この場合、首長はその通知を受けた日から10日以内に議会を解散することができるが、その解散と同時に首長は法律上、その職を失うこととなる。
3. 都道府県又は市町村の議会が議決すべき事件を議決しないなどの場合や、議会の権限に属する軽易な事項でその議決により特に指定した場合には、首長は一定の範囲内で議決すべき事件を処分(専決処分)することができる。ただし、前者の場合に専決処分をしたものについては、首長は次の会議において議会に報告し、その承認を求めなければならないことが地方自治法に規定されている。
4. 地方自治法においては直接請求制度が定められており、都道府県又は市町村に勤務する全ての公務員について、当該都道府県又は市町村の有権者の総数の10分の1以上の者の連署をもって解職の請求を行うことができるが、住民の投票によって選ばれる首長や議会の議員の解職については、直接請求制度の対象となっていない。
5. 都道府県又は市町村においては、首長と並んで複数の委員で構成される合議制の組織である行政委員会が執行機関として存在し、二元代表制と呼ばれる。行政委員会は、政治的中立性の確保が必要とされる分野などにおいて設置され、首長とは相互に独立して職務を遂行しており、各行政委員会は関連する条例案や予算案を議会に直接提出することも認められている。

No. 11～No. 15 は憲法です。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 11】 法の下での平等に関するア～エの記述のうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

ア. 憲法第 14 条第 1 項は、すべて国民は、法の下に平等であって、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない旨規定しているが、同項後段に列挙された事項は例示的なものであるとするのが判例である。また、同項後段にいう「信条」とは、宗教上の信仰にとどまらず、広く思想上や政治上の主義を含むと一般に解されている。

イ. 租税法の分野における所得の性質の違い等を理由とする取扱いの区別は、その立法目的が正当なものであり、かつ、当該立法において具体的に採用された区別の態様が当該目的との関連で著しく不合理であることが明らかでない限り、憲法第 14 条第 1 項に違反するものではないが、給与所得の金額の計算につき必要経費の実額控除を認めない所得税法の規定(当時)は、事業所得者等に比べて給与所得者に著しく不公平な税負担を課すものであり、その区別の態様が著しく不合理であるから、同項に違反するとするのが判例である。

ウ. 憲法第 14 条の規定は専ら国又は公共団体と個人との関係を規律するものであり、私人相互の関係を直接規律することを予定するものではなく、私人間の関係においては、各人の有する自由と平等の権利が対立する場合の調整は、原則として私的自治に委ねられるのであって、企業が特定の思想、信条を有する者をそのことを理由に雇入れを拒んでも、それを当然に違法とすることはできないとするのが判例である。

エ. 参議院議員の選挙において、公職選挙法上、都道府県を単位として各選挙区の議員定数が配分されているために、人口変動の結果、選挙区間における投票価値の不均衡が生じていることについて、国会が具体的な選挙制度の仕組みを決定するに当たり、都道府県の意義や実体等を要素として踏まえた選挙制度を構築することは、国会の合理的な裁量を超えるものであり、同法の参議院(選挙区選出)議員の議員定数配分規定は憲法第 14 条第 1 項に違反するとするのが判例である。

1. ア, イ
2. ア, ウ
3. イ, ウ
4. イ, エ
5. ウ, エ

【No. 12】 憲法第 18 条及び第 19 条に関するア～オの記述のうち、判例に照らし、妥当なのみを全て挙げているのはどれか。

ア. 裁判員としての職務に従事し又は裁判員候補者として裁判所に出頭することは、それが司法権の行使に対する国民の参加という点で参政権と同様の権限を国民に付与するものであることや、裁判員法等が裁判員の辞退に関し柔軟な制度を設け、加えて、旅費や日当等の支給により負担を軽減するための経済的措置が講じられていること等を考慮すれば、憲法第 18 条後段が禁ずる「苦役」に当たらない。

イ. 強制加入団体である税理士会が政党など政治資金規正法上の政治団体に金員を寄付することは、それが税理士に係る法令の制定改廃に関する政治的要求を実現するためのものである限り、税理士法で定められた税理士会の目的の範囲内の行為であって、当該政治団体に金員の寄付をするために会員から特別会費を徴収する旨の税理士会の総会決議は、会員の思想、信条の自由を侵害するものではなく、有効である。

ウ. 強制加入団体である司法書士会が震災により被災した他県の司法書士会に復興支援のための拠出金を寄付することは、たとえそれが倫理的、人道的見地から実施されるものであっても、司法書士法で定められた司法書士会の目的の範囲外の行為であって、被災した他県の司法書士会に拠出金を寄付するために特別に負担金を徴収する旨の司法書士会の総会決議は、会員の思想、信条の自由を侵害するものであり、無効である。

エ. 公立中学校の校長が、その作成する調査書に生徒の外部団体の集会への参加やビラ配布などの活動を記載し、当該調査書を入学者選抜の資料として高等学校に提出したことは、当該調査書の記載の内容から生徒の思想、信条を知ることができ、生徒の思想、信条自体を入学者選抜の資料に供したものと解されることから、憲法第 19 条に違反する。

オ. 市立小学校の校長が音楽専科の教諭に対して入学式の国歌斉唱の際に「君が代」のピアノ伴奏を行うことを命じた職務命令は、直ちに当該教諭の歴史観ないし世界観それ自体を否定するものではなく、当該教諭に対し特定の思想を持つことを強制したり禁止したりするものでもなく、また、当該職務命令は、小学校教育の目標などを定めた関係諸規定の趣旨にかなうものであるなど、その目的及び内容において不合理であるということはできず、憲法第 19 条に違反しない。

1. ア, イ
2. ア, オ
3. イ, ウ
4. ウ, エ
5. エ, オ

【No. 13】 集会の自由に関する次の記述のうち、判例に照らし、妥当なのはどれか。

1. 憲法第 21 条の保障する「集会」とは、特定又は不特定の多数人が一定の場所において事実上集まる一時的な集合体を指すところ、集会の自由が個人の人格の形成や民主主義社会の維持発展に不可欠な表現の自由の一環であることからすると、同条の集会は、公共的事項を討議し、意見を表明するための集会のみを指し、葬儀や結婚式のような冠婚葬祭のための集会を含まないと解されるから、何者かに殺害された労働組合幹部を追悼するための合同葬はこれに当たらない。
2. 集会の自由は、公共の安全や他者の権利保護の点からの制約を免れないところ、主催者が集会を平穩に行おうとしているのに、その集会の目的や主催者の思想等に反対する者らが、集会を実力で阻止しようとして紛争を起こすおそれがあることを、市の福社会館管理条例が定める「会館の管理上支障があると認められるとき」に当たるとして市長が当該会館の利用を拒むことができるのは、警察の警備等によっても混乱を防止することができないような事情がある場合に限りならず、警察の警備等が行われることによりその他の当該会館の利用客に多少の不安が生ずる場合をも含むと解すべきである。
3. 道路における危険を防止し、交通の安全等を図り、及び道路の交通に起因する障害の防止に資するという道路交通法所定の目的の下に、道路使用の許可に関する明確かつ合理的な基準を掲げて不許可とされる場合を厳格に制限した上、道路を使用して集団行進をしようとする者に対し、あらかじめ警察署長の許可を受けさせることとした同法及び県道路交通法施行細則の規定は、表現の自由に対する公共の福祉による必要かつ合理的な制限として憲法上是認される。
4. 行列行進又は公衆の集団示威運動について、県の公安条例をもって、地方的情況その他諸般の事情を十分考慮に入れ、不測の事態に備え、法と秩序を維持するのに必要かつ最小限度の規制措置を事前に講ずることはやむを得ないから、公安委員会に広範な裁量を与え、不許可の場合を厳格に制限しない一般的な許可制を定めて集団行動の実施を事前に抑制することは、憲法に違反しない。
5. 公共用財産である皇居外苑の利用の許否は、その利用が公共用財産の公共の用に供せられる目的に沿うものであったとしても皇居外苑の管理権者である厚生大臣(当時)の自由裁量に委ねられることから、メーデーのための皇居外苑の使用許可申請に対して、同大臣が行った不許可処分は、管理権の適正な運用を誤ったものとはいえず、憲法第 21 条に違反するものではない。

【No. 14】 司法権に関するア～エの記述のうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。ただし、争いのあるものは判例の見解による。

ア. 憲法第76条第1項は、すべて司法権は、最高裁判所及び法律の定めるところにより設置する下級裁判所に属する旨規定する。その例外として、裁判官の弾劾裁判を国会の設ける裁判官弾劾裁判所で行うことや、国会議員の資格争訟についての裁判を各議院で行うことが憲法上認められているが、これらの裁判に対して不服のある者は、更に司法裁判所へ出訴することができる。

イ. 最高裁判所は、訴訟に関する手続、弁護士、裁判所の内部規律及び司法事務処理に関する事項について、規則を定める権限を有する。また、最高裁判所は、下級裁判所に関する規則を定める権限を、下級裁判所に委任することができる。

ウ. 国公立大学における授業科目の単位授与(認定)行為は、学生が授業科目を履修し試験に合格したことを確認する教育上の措置であり、内部的な問題であることが明らかであるため、およそ司法審査の対象となることはないが、他方、国公立大学における専攻科修了認定行為は、大学が専攻科修了の認定をしないことは実質的に学生が一般市民として有する公の施設を利用する権利を侵害するものであるため、司法審査の対象となる。

エ. 政党が党員に対してした処分が一般市民法秩序と直接の関係を有しない内部的な問題にとどまる限り、裁判所の審判権は及ばないが、他方、当該処分が一般市民としての権利利益を侵害する場合であっても、当該処分の当否は、当該政党の自律的に定めた規範が公序良俗に反するなどの特段の事情のない限り当該規範に照らし、当該規範を有しないときは条理に基づき、適正な手続に則ってされたか否かによって決すべきである。

1. ア, イ
2. ア, ウ
3. イ, エ
4. ウ, エ
5. ア, イ, エ

【No. 15】 財政に関するア～オの記述のうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。ただし、争いのあるものは判例の見解による。

ア. 憲法第 84 条は、新たに租税を課し、又は現行の租税を変更するには、法律又は法律の定める条件によることを必要とする旨規定しているが、法律上課税できる品目であるにもかかわらず、実際上は非課税として取り扱われてきた品目を、通達によって新たに課税物品として取り扱うことは、通達の内容が法の正しい解釈に合致するものであっても、法的安定性や国民の予測可能性を欠くので、同条に違反する。

イ. 国が国費を支出するには、国会の議決を経る必要があるが、国が財政上の需要を充足するために債務を負担するには、債務を負担する時点では国費の支出は伴っていないため、国会の議決は要しない。

ウ. 内閣は、予見し難い予算の不足に充てるため、国会の議決を経ることなく予備費を設け、内閣の責任においてこれを支出することができる。ただし、予備費の支出については、内閣は、事後に国会の承諾を得なければならず、また、予備費の支出の決算については、会計検査院がこれを検査することとされている。

エ. 憲法第 89 条が禁止している公金その他の公の財産を宗教上の組織又は団体の使用、便益又は維持のために支出すること又はその利用に供することというのは、憲法が定める政教分離原則の意義に照らして、公金支出行為等における国家と宗教との関わり合いが相当とされる限度を超えるものをいうと解すべきであり、これに該当するかどうかを検討するに当たっては、憲法第 20 条第 3 項にいう宗教的活動に該当するかどうかを検討するに当たっての基準と同様の基準によって判断しなければならない。

オ. 国又は地方公共団体が、課税権に基づき、その経費に充てるための資金を調達する目的をもって、特別の給付に対する反対給付としてではなく、一定の要件に該当する全ての者に対して課する金銭給付は、その形式のいかんにかかわらず、憲法第 84 条に規定する租税に当たる。

1. ア, イ
2. ア, ウ
3. イ, オ
4. ウ, エ
5. エ, オ

No. 16～No. 20 は行政法です。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 16】 行政行為に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。ただし、争いのあるものは判例の見解による。

1. 行政行為に瑕疵があり、行政庁がこれを職権により取り消す場合、この場合における取消行為も行政行為であるため、当該職権取消しを認める法律上の明文の規定が必要である。
2. 附款は、行政行為の効果を制限するために付加される意思表示であるから、附款が違法である場合は、本体の行政行為と分離可能であっても、附款を含めた行政行為全体の取消しを求める必要があり、附款のみを対象とする取消訴訟を提起することは許されない。
3. 違法行為の転換とは、行政行為が法令の要件を満たしておらず本来は違法ないし無効であるが、これを別の行政行為としてみると、瑕疵がなく、かつ、目的や内容においても要件を満たしていると認められる場合に、その別の行政行為と見立てて有効なものとして扱うことをいい、行政効率の観点から認められる場合がある。しかし、訴訟において違法行為の転換を認めると、行政行為の違法性を争う私人にとって不意打ちとなるため、行政庁が訴訟において違法行為の転換を主張することは明文で禁止されている。
4. 行政庁が行う行政行為が基本的には裁量の余地のない確認的行為の性格を有するものであっても、具体的事案に応じ行政上の比較衡量的判断を含む合理的な行政裁量を行使することが全く許容されないものと解するのは相当でなく、行政庁が、当該行政行為の名宛人と、同人と対立する住民との間で実力による衝突が起こる危険を回避するために、一定の期間、当該行政行為を留保することは、当該行政裁量の行使として許容される範囲内にとどまり、国家賠償法第1条第1項の定める違法性はない。
5. 行政財産である土地について建物所有を目的とし期間の定めなくされた使用許可が、当該行政財産本来の用途又は目的上の必要に基づき将来に向かって取り消されたときは、使用権者は、特別の事情のない限り、当該取消しによる土地使用権喪失についての補償を求めることができる。

【No. 17】 行政上の義務履行確保等に関するア～エの記述のうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

ア. 行政代執行法に基づき代執行をなし得るのは、他人が代わってなすことのできる代替的作為義務が履行されない場合のほか、営業停止や製造禁止といった不作為義務が履行されない場合も含まれる。

イ. 法人税法が定めていた追徴税(当時)は、単に過少申告・不申告による納税義務違反の事実があれば、同法所定のやむを得ない事由のない限り、当該納税義務違反の法人に対し課せられるものであり、これによって、過少申告・不申告による納税義務違反の発生を防止し、もって納税の実を挙げようとする趣旨に出た行政上の措置と解すべきであるから、同法の定める追徴税と罰金とを併科することは、憲法第39条に違反しないとするのが判例である。

ウ. 即時強制とは、相手方の義務の存在を前提とせずに、行政機関が人又は物に対して実力を行使する事実行為をいう。即時強制は、緊急の危険から私人を保護することや、公共の秩序や民衆に危険が及ぶことを防止することを目的としており、その実施の判断は行政機関の裁量に委ねられる必要があるため、原則として即時強制を実施するための根拠規定は不要である。

エ. 国税徴収法は、国税債権の徴収に関わる手続を定めているが、同法に定められている厳格な手続は、国税債権以外の行政上の金銭債権の徴収にも広く適用されるべき一般的手続である。このため、国税債権以外の行政上の金銭債権の徴収に当たり、国税徴収法の定める徴収手続を適用する場合には、個別の法律において国税徴収法の定める徴収手続を適用するための明文の規定は不要である。

1. イ
2. ア, イ
3. ア, ウ
4. イ, エ
5. ウ, エ

【No. 18】 行政不服審査法における教示や情報の提供に関するア～オの記述のうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

- ア. 行政庁は、審査請求等の不服申立てをすることができる処分をする場合には、処分の相手方に対し、当該処分につき不服申立てをすることができる旨並びに不服申立てをすべき行政庁及び不服申立てをすることができる期間を書面で教示しなければならないが、当該処分を口頭でする場合も、当該教示は書面でしなければならない。
- イ. 行政庁は、利害関係人から、その処分が審査請求等の不服申立てをすることができる処分であるかどうか並びに当該処分が不服申立てをすることができるものである場合における不服申立てをすべき行政庁及び不服申立てをすることができる期間につき教示を求められたときは、当該教示を必ず書面でしなければならない。
- ウ. 審査請求等の不服申立てをすることができる処分につき、行政庁が誤って不服申立てをすることができる処分ではないと判断して、処分の相手方に対し、行政不服審査法所定の教示をしなかった場合、当該処分について不服がある者は、当該処分庁に不服申立書を提出することができる。
- エ. 審査請求等の不服申立てにつき裁決、決定その他の処分をする権限を有する行政庁は、不服申立てをしようとする者又は不服申立てをした者の求めに応じ、不服申立書の記載に関する事項その他の不服申立てに必要な情報の提供に努めなければならない。
- オ. 審査請求等の不服申立てにつき裁決等をする権限を有する行政庁は、当該行政庁に不服申立てをした者の求めに応じ、当該行政庁がした裁決等の内容その他当該行政庁における不服申立ての処理状況について公表しなければならない。

1. ア, イ
2. ア, ウ
3. イ, オ
4. ウ, エ
5. エ, オ

【No. 19】 取消訴訟の訴訟要件に関するア～オの記述のうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。ただし、争いのあるものは判例の見解による。

- ア. 行政事件訴訟法で定められた訴訟要件を満たしていない訴えについては、請求が棄却されることとなる。
- イ. 取消訴訟は、正当な理由があるときを除き、処分又は裁決があったことを知った日から6か月を経過したときは、提起することができない。処分又は裁決の日から1年を経過したときも同様である。
- ウ. 取消訴訟の対象となる行政庁の処分とは、その行為によって、直接若しくは間接に国民の権利義務を形成し又はその範囲を確定することが法律上認められているものをいう。
- エ. 取消訴訟は、処分又は裁決の取消しを求めるにつき法律上の利益を有する者に限り提起することができ、当該者には、処分又は裁決の効果が期間の経過その他の理由によりなくなった後においてもなお処分又は裁決の取消しによって回復すべき法律上の利益を有する者も含まれる。
- オ. 行政庁の処分に対して法令の規定により審査請求をすることができる場合には、原則として、審査請求に対する裁決を経た後でなければ取消訴訟を提起することができない。

1. ア, ウ
2. ア, オ
3. イ, エ
4. イ, オ
5. ウ, エ

【No. 20】 国家賠償法に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 国家賠償法第1条が適用されるのは、公務員が主観的に権限行使の意思をもって行った職務執行につき違法に他人に損害を加えた場合に限られるものであり、客観的に職務執行の外形を備える行為であっても、公務員が自己の利を図る意図をもって行った場合は、国又は公共団体は損害賠償の責任を負わないとするのが判例である。
2. 公権力の行使に当たる公務員の職務行為に基づく損害については、国又は公共団体が賠償の責任を負い、職務の執行に当たった公務員は、故意又は重過失のあるときに限り、個人として、被害者に対し直接その責任を負うとするのが判例である。
3. 保健所に対する国の嘱託に基づき、県の職員である保健所勤務の医師が国家公務員の定期健康診断の一環としての検診を行った場合、当該医師の行った検診及びその結果の報告は、原則として国の公権力の行使に当たる公務員の職務上の行為と解すべきであり、当該医師の行った検診に過誤があったため受診者が損害を受けたときは、国は国家賠償法第1条第1項の規定による損害賠償責任を負うとするのが判例である。
4. 国家賠償法第2条第1項にいう営造物の設置又は管理の瑕疵とは、営造物が有すべき安全性を欠いている状態をいうが、そこにいう安全性の欠如とは、当該営造物を構成する物的施設自体に存する物理的、外形的な欠陥ないし不備によって一般的に危害を生ぜしめる危険性がある場合のみならず、当該営造物が供用目的に沿って利用されることとの関連において危害を生ぜしめる危険性がある場合をも含み、また、その危害は、当該営造物の利用者に対してのみならず、利用者以外の第三者に対するそれをも含むとするのが判例である。
5. 外国人が被害者である場合には、国家賠償法第1条については、相互の保証があるときに限り、国又は公共団体が損害の賠償責任を負うが、同法第2条については、相互の保証がないときであっても、国又は公共団体が損害の賠償責任を負う。

No. 21～No. 25 は民法(総則及び物権)です。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 21】 代理に関するア～オの記述のうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

- ア. 代理人が、本人のためにすることを示さないで相手方に意思表示をした場合において、相手方が、代理人が本人のためにすることを知り、又は知ることができたときは、その意思表示は、本人に対して直接に効力を生ずる。
- イ. 代理人が相手方に対してした意思表示の効力が、ある事情を知っていたこと又は知らなかったことにつき過失があったことによって影響を受けるべき場合には、その事実の有無は、原則として、代理人を基準として決する。
- ウ. 制限行為能力者が他の制限行為能力者の法定代理人としてした行為は、行為能力の制限を理由として取り消すことができない。
- エ. 委任による代理人は、自己の責任で復代理人を選任することができるが、法定代理人は、本人の許諾を得たとき、又はやむを得ない事由があるときでなければ、復代理人を選任することができない。
- オ. 復代理人は、その権限内の行為について代理人を代表し、また、本人及び第三者に対して、その権限の範囲内において、代理人と同一の権利を有し、義務を負う。

1. ア, イ
2. ア, エ
3. イ, ウ
4. ウ, オ
5. エ, オ

【No. 22】 無効及び取消しに関するア～オの記述のうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

- ア. 無効な行為は、追認によっても、その効力を生じない。ただし、当事者がその行為の無効であることを知って追認をしたときは、遡及的に有効となる。
- イ. 無効な無償行為に基づく債務の履行として給付を受けた者は、給付を受けた当時その行為が無効であることを知らなかったときは、その行為によって現に利益を受けている限度において、返還の義務を負う。
- ウ. 無効は、取消しとは異なり、意思表示を要せず、最初から当然に無効であり、当事者に限らず誰でも無効の主張ができるものであるから、無効な行為は、強行規定違反又は公序良俗違反の行為に限られる。
- エ. 取り消すことができる行為の追認は、原則として、取消しの原因となっていた状況が消滅し、かつ、取消権を有することを知った後にしなければ、その効力を生じない。
- オ. 追認をすることができる時以後に、取り消すことができる行為について取消権者から履行の請求があった場合は、取消権者が異議をとどめたときを除き、追認をしたものとみなされる。

1. ア, ウ
2. イ, エ
3. エ, オ
4. ア, ウ, オ
5. イ, エ, オ

【No. 23】 A, B及びCが甲建物を同一の持分で共有している場合に関するア～オの記述のうち、
妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。ただし、争いのあるものは判例の見解による。

ア. 甲建物について、無権利者Dが単独名義の登記を有する場合、Aは、Dに対して、単独で登記の全部抹消登記手続を求めることができる。

イ. 甲建物について、CがA及びBに無断で単独名義の登記を有する場合であっても、A及びBは、Cに対して、自己の持分を超えて更正の登記手続を請求することはできない。

ウ. Aは、B及びCに対して、いつでも甲建物の分割を請求することができ、A, B及びCの三者間の契約によっても、これを制限することはできない。

エ. 甲建物について、A, B及びCの各持分の登記がされている場合において、CがEに対しその持分を譲渡し、登記も移転したが、当該譲渡が無効であったときは、Aは、自己の持分を侵害されているわけではないため、Eに対して、単独で持分移転登記の抹消登記手続を求めることができない。

オ. Cが単独で甲建物に居住してこれを占有している場合であっても、A及びBは、甲建物の明渡しを求める理由を主張・立証しない限り、Cに対して、甲建物の明渡しを請求することはできない。

1. ア, イ
2. ア, オ
3. ウ, エ
4. ア, イ, オ
5. ウ, エ, オ

【No. 24】 留置権に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。ただし、争いのあるものは判例の見解による。

1. Aは、自己の所有する甲土地をBに売却したが、これを引き渡していなかったところ、Bは、弁済期が到来したにもかかわらず、Aに代金を支払わないまま甲土地をCに売却した。この場合において、CがAに対し甲土地の引渡しを請求したときは、Aは、AがBに対して有する代金債権のために、Cに対して、甲土地につき留置権を行使することができる。
2. Aは、自己の所有する甲土地をBに売却し引き渡したが、所有権移転登記を経由していなかったところ、甲土地をCにも売却して、所有権移転登記を経由した。この場合において、CがBに対し甲土地の引渡しを請求したときは、Bは、Aに対して有する債務不履行に基づく損害賠償請求権のために、Cに対して、甲土地につき留置権を行使することができる。
3. Aが、Bに対して有する代金債権のためにB所有の乙土地につき留置権を有する場合において、Bがその代金の一部を支払ったときは、Aは、その金額に応じて、乙土地の一部を引き渡さなければならない。
4. Aが、Bに対して有する代金債権のためにB所有の乙土地につき留置権を有する場合、Aは、自己の財産に対するのと同じの注意をもって、乙土地を占有しなければならない。
5. Aが、Bに対して有する代金債権のためにB所有の乙土地につき留置権を有する場合、Aは、原則として、乙土地をBの承諾なく自由に使用することができる。

【No. 25】 物上代位に関するア～オの記述のうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。
ただし、争いのあるものは判例の見解による。

- ア. 抵当権者による賃料への物上代位は、抵当権の実行までは抵当権設定者に不動産の使用・収益を認めるという抵当権の趣旨に反するため、被担保債権の不履行がある場合であっても認められない。
- イ. 物上代位は、先取特権、質権及び抵当権については認められるが、留置権には認められない。
- ウ. 請負人が注文者に対して有する請負代金債権の一部が、請負人が請負工事に用いるため購入した動産の転売によって取得する代金債権と同視できる場合であっても、請負代金には労務の対価が含まれているため、その動産の売主は、動産売買の先取特権に基づき、当該請負代金債権の一部に対して物上代位権を行使することができない。
- エ. 債権について一般債権者の差押えと抵当権者の物上代位権に基づく差押えが競合した場合、抵当権設定登記よりも一般債権者の申立てによる差押命令の第三債務者への送達が先であれば、一般債権者の差押えが優先する。
- オ. 動産売買の先取特権は、抵当権とは異なり公示方法が存在しないため、動産売買の先取特権者は、物上代位の目的債権が譲渡され、第三者に対する対抗要件が備えられた後でも、目的債権を差し押さえて物上代位権を行使することができる。

1. ア, ウ
2. ア, オ
3. イ, ウ
4. イ, エ
5. エ, オ

No. 26～No. 30 は民法(債権, 親族及び相続)です。

解答は, 問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 26】 債務不履行に基づく損害賠償に関するア～エの記述のうち, 妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

- ア. 売買契約における債務の不履行に対する損害賠償の請求は, その損害が特別の事情によって生じた場合には, 当事者が契約締結時にその事情を予見していたときに限りすることができる。
- イ. 将来において取得すべき利益についての損害賠償の額を定める場合において, その利益を取得すべき時までの利息相当額を控除するときは, その損害賠償の請求権が生じた時点における法定利率により行う。
- ウ. 金銭の給付を目的とする債務の不履行に基づく損害賠償については, 債務者は, 不可抗力をもって抗弁とすることができない。
- エ. 売買契約の当事者は, 債務の不履行について損害賠償の額を予定した場合であっても, 解除権を行使することができる。

1. ア, ウ
2. イ, ウ
3. イ, エ
4. ア, イ, エ
5. イ, ウ, エ

【No. 27】 連帯債務に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 債務の目的がその性質上可分である場合において、法令の規定又は当事者の意思表示によって数人が連帯して債務を負担するときは、債権者は、その連帯債務者の一人に対し、又は同時に若しくは順次に全ての連帯債務者に対し、全部又は一部の履行を請求することができる。
2. 連帯債務者の一人について、法律行為の無効又は取消しの原因がある場合、他の連帯債務者の債務は、その効力を失う。
3. 連帯債務者の一人に対する履行の請求は、債権者及び他の連帯債務者の一人が別段の意思を表示したときを除き、他の連帯債務者に対しても、その効力を生ずる。
4. 連帯債務者の一人が債権者に対して債権を有する場合において、当該債権を有する連帯債務者が相殺を援用しない間は、その連帯債務者の負担部分についてのみ、他の連帯債務者は相殺を援用することができる。
5. 連帯債務者の一人に対して債務の免除がされた場合には、免除の絶対的効力により、他の連帯債務者は、その一人の連帯債務者に対し、求償権を行使することはできない。

【No. 28】 契約の成立に関するア～オの記述のうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

- ア. AがBに承諾の期間を定めて売買契約の締結の申込みをした場合において、その期間内にAがBから承諾の通知を受けなかったときは、Aの申込みは承諾されたものとみなされる。
- イ. AがBに承諾の期間を定めずに売買契約の締結の申込みをした場合において、Aがこれを撤回する権利を留保したときであっても、Aは、Bからの承諾の通知を受けるのに相当な期間を経過するまでは、その申込みを撤回することはできない。
- ウ. AとBが対話している間に、AがBに承諾の期間を定めずに売買契約の締結の申込みをした場合には、Aの申込みは、AとBの対話が継続している間は、いつでも撤回することができる。
- エ. AがBに売買契約の締結の申込みの通知を発した後に死亡した場合において、Bが承諾の通知を発するまでにAの死亡の事実を知ったときは、Aの申込みは効力を有しない。
- オ. AがBに売買契約の締結の申込みをしたところ、BがAの申込みに条件を付してこれを承諾した場合には、Bが承諾した時点で、その条件に従って変更された内容の契約が成立する。

1. ア, イ
2. イ, エ
3. ウ, エ
4. ウ, オ
5. エ, オ

【No. 29】 売買に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。ただし、争いのあるものは判例の見解による。

1. 売買契約において、買主が売主に手付を交付した場合、その交付に当たって当事者が手付の趣旨を明らかにしていなかったときは、交付された手付は、違約手付と推定される。
2. 売買契約の目的物である土地の一部が他人の所有に属していた場合のように、権利の一部が他人に属する場合であっても、売買契約は有効である。そのため、他人の権利を売買の目的とした売主は、その権利を取得して買主に移転する義務を負う。
3. 売買契約において、引き渡された目的物が種類、品質又は数量に関して契約の内容に適合しないものであり、その不適合が買主の責めに帰すべき事由によるものでない場合、買主は、売主に対し、目的物の修補、代替物の引渡し又は不足分の引渡しによる履行の追完を請求することができる。その際、売主は、買主が請求した方法によらなければ履行の追完をしたことにはならない。
4. 売買契約において、引き渡された目的物が種類、品質又は数量に関して契約の内容に適合しないものであり、その不適合が買主の責めに帰すべき事由によるものでない場合、買主は、売主に対し、その不適合の程度に応じて代金の減額を請求することができる。その際、買主は、売主が代金全額を受け取る機会を与えるため、必ず相当の期間を定めた履行の追完の催告をしなければならない。
5. 売買契約において、引き渡された目的物が種類、品質又は数量に関して契約の内容に適合しないものである場合に、買主の救済手段として、一定の要件の下に、追完請求権や代金減額請求権が認められる。これらは紛争の早期解決を目的とする民法上の特則であるため、買主は、追完請求権や代金減額請求権を行使することができるときは、民法第415条の規定による損害賠償の請求や同法第541条の規定による解除権の行使をすることはできない。

【No. 30】 自筆証書遺言に関するア～エの記述のうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。ただし、争いのあるものは判例の見解による。

ア. 自筆証書遺言は、押印によって遺言者の同一性及びその意思の真意性が担保されているため、必ずしも手書きで作成する必要はなく、パソコンで作成した遺言書も押印があれば有効である。

イ. 一般に、封筒の封じ目の押印は、無断の開封を禁止するという遺言者の意思を外部に表示する意味を有するもので、遺言者の同一性及びその意思の真意性を担保する趣旨のものではないから、遺言書の本文には押印がなく、遺言書を入れる封筒の封じ目に押印のある自筆証書遺言は無効である。

ウ. 自筆証書遺言の日付は、作成時の遺言能力の有無や内容の抵触する複数の遺言の先後を確定するために要求されることから、日付が「令和4年3月吉日」と記載された自筆証書遺言は、日付の記載を欠くものとして無効である。

エ. カーボン紙を用いて複写の方法によって記載された自筆証書遺言は、民法が要求する自書の要件に欠けるところはなく、その他の要件を満たす限り、有効である。

1. ア, イ
2. ア, ウ
3. イ, ウ
4. イ, エ
5. ウ, エ

No. 31～No. 35 はミクロ経済学です。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 31】 X財の消費量を x ，Y財の消費量を y とするとき，ある個人の効用水準 U が

$$U = xy$$

で示されている。X財の価格が2，Y財の価格が10のとき，効用水準 U が125となるために必要な所得の最小値はいくらか。

1. 40
2. 100
3. 125
4. 150
5. 250

【No. 32】 今後 80 年間生きるある個人が、これから T 年間働いて退職したときの生涯効用 u が以下のように示される。

$$u = C \times (80 - T)$$

ここで、 C は生涯の支出総額を表し、 $0 \leq T \leq 80$ である。

この個人が働いている期間は毎年 120 の所得が得られ、退職後は毎年 40 の年金が得られる。生涯効用 u が最大となるときの T はいくらか。

ただし、この個人は現在の資産はなく、また、所得及び年金収入を今後の 80 年間のうちに全て支出するものとする。

1. 20
2. 30
3. 40
4. 50
5. 60

【No. 33】 ある企業の生産関数が以下のように示される。

$$Y = \sqrt{KL}$$

ここで、 $Y(> 0)$ は生産量、 $K(> 0)$ は資本投入量、 $L(> 0)$ は労働投入量である。

資本の要素価格が4、労働の要素価格が9のとき、完全競争下で生産した場合の、この企業の総費用 TC を生産量 Y の式として表したものとして妥当なのはどれか。

1. $TC = 1.5Y$
2. $TC = 5Y$
3. $TC = 12Y$
4. $TC = 13Y$
5. $TC = 36Y$

【No. 34】 ある財を生産する事業者Aと事業者Bから成る複占市場を考える。財の需要量 q と価格 p の関係は以下のように示される。

$$q = 12 - p$$

また、両者はいずれも限界費用6で財を生産するものとし、数量競争を行う。このとき、クールノー・ナッシュ均衡における価格 p はいくらか。

1. 2
2. 4
3. 6
4. 8
5. 10

【No. 35】 企業Pは戦略①又は戦略②を採ることができ、企業Qは戦略③又は戦略④を採ることができるものとする。

また、企業Pと企業Qの採る戦略とそれぞれの利得の関係は、次の表で与えられるものとする。

ただし、表の()内の左側が企業Pの利得であり、右側が企業Qの利得である。

		企業Q	
		戦略③	戦略④
企業P	戦略①	(a, 50)	(20, b)
	戦略②	(40, c)	(d, 60)

このとき、(戦略①, 戦略③)が支配戦略均衡となる場合の(a, b, c, d)の条件の組合せとして妥当なのはどれか。

1. $(a > 20, b < 60, c > 50, d < 40)$
2. $(a > 20, b < 60, c < 50, d > 40)$
3. $(a > 20, b < 50, c > 60, d < 40)$
4. $(a > 40, b < 50, c > 60, d < 20)$
5. $(a > 40, b < 60, c < 50, d > 20)$

No. 36～No. 40 はマクロ経済学です。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 36】 ある国のマクロ経済が、次のように示されている。

$$Y = C + I + G$$

$$C = 20 + 0.8(Y - T)$$

$$I = 70$$

$$G = 150$$

$$T = tY$$

ここで、 Y は国民所得、 C は消費、 I は投資、 G は政府支出、 T は租税、 t は限界税率である。

いま、政府が完全雇用を達成するように限界税率 t を定めた場合、政府の財政収支に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。なお、完全雇用国民所得は600とする。

1. 均衡する。
2. 25の黒字となる。
3. 30の黒字となる。
4. 25の赤字となる。
5. 30の赤字となる。

【No. 37】 以下のような閉鎖経済のマクロ経済モデルを考える。財市場では、

$$C = 12 + 0.5Y$$

$$I = 43 - r$$

$$G = 5$$

(C : 消費, Y : 国民所得, I : 投資, r : 利子率, G : 政府支出)

が成立し、貨幣市場では、以下が成立している。

$$L = \frac{2}{r}$$

$$M = 1$$

(L : 実質貨幣需要, M : 名目貨幣供給)

また、物価を P とすると、総供給曲線は $Y = 2P$ で与えられている。このとき、このマクロ経済の均衡国民所得はいくらか。

1. 10
2. 20
3. 40
4. 60
5. 80

【No. 38】 名目賃金の上昇率を g_w 、失業率を U 、自然失業率を U^N とするとき、以下の賃金版フィリップス曲線が成立しているとする。

$$g_w = -0.5(U - U^N)$$

また、名目賃金を W 、物価水準を P 、労働の限界生産性を μ とするとき、以下の関係が成立しているとする。

$$\frac{W}{P} = \mu$$

いま、労働の限界生産性の値は 2 で一定とする。

自然失業率が 7%、物価上昇率が 1% の場合における、失業率はいくらか。

1. 1%
2. 2%
3. 3%
4. 4%
5. 5%

【No. 39】 2019年、2020年のそれぞれにおける、財Aと財Bの価格と販売量は、次の表のとおりであった。

価格	2019年	2020年
財A	20	10
財B	10	20

販売量	2019年	2020年
財A	20	10
財B	10	20

2019年を基準年(基準年の物価指数=100)として2020年の物価指数を、①ラスパイレス方式、②パーシェ方式でそれぞれ求めた値の組合せとして妥当なのはどれか。

- | | ① | ② |
|----|-----|-----|
| 1. | 80 | 100 |
| 2. | 80 | 125 |
| 3. | 100 | 80 |
| 4. | 100 | 100 |
| 5. | 125 | 80 |

【No. 40】 ソローモデルの枠組みで考える。 t 期の産出量を Y_t 、資本ストックを K_t 、労働人口を L_t とすると、マクロ的生産関数が以下のように示される。

$$Y_t = 0.2 K_t^{\frac{1}{2}} L_t^{\frac{1}{2}}$$

また、労働人口は 0.05 の成長率で増加する。一方、資本ストックは t 期の投資を I_t とすると、以下のように示される。

$$K_{t+1} = K_t + I_t$$

なお、資本減耗率はゼロとする。いま、貯蓄率を s とすると、 t 期の投資 I_t は以下のように示される。

$$I_t = sY_t \quad (s > 0)$$

また、 t 期の消費 C_t は以下のように示される。

$$C_t = (1 - s)Y_t$$

このとき、定常状態の労働人口 1 人当たりの消費を最大にする貯蓄率 s の値はいくらか。

1. 0.05
2. 0.1
3. 0.2
4. 0.5
5. 0.8

No. 41～No. 45 は**財政学・経済事情**です。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 41】 我が国の財政制度に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 地方交付税は、地方公共団体間にある税収の多寡を調整し、地方公共団体ごとの財源の均衡化を図ることで、地方行政の計画的な運営を保障するためのものである。財政余力の大きい自治体の地方税収の一定割合を、財政余力の小さい自治体に配分する仕組みとなっており、国が一定の使途の制限を設けている。
2. 建設国債及び赤字国債の発行は、財政法では認められていないため、発行する年ごとに特例公債法を制定する必要がある。また、償還期限が到来した国債の一部を借り換えるための資金を調達するための借換債は、財政法第4条第1項ただし書で規定されている。
3. 予算は、財政民主主義の観点から毎会計年度これを作成し、国会の議決を経なければならないという会計年度独立の原則を採用している。そのため、完成までに数会計年度を要する国の事業についても、その総額を年数で割った毎年度の支出見込額を定め、次年度以降の当初予算又は補正予算に毎年度、組み込む必要がある。
4. 地方財政健全化法では、地方公共団体の財政の健全性を四つの指標で判定し、それらの報告を義務付け、財政健全化を促す制度を設けている。財政の早期是正措置として、これらの指標のうちいずれか二つが早期健全化基準以上となった場合には、財政再生団体として財政健全化計画を定めなければならない。財政の早期健全化が著しく困難であると認められるとき、財務大臣は必要な勧告をすることができる。
5. 建設国債及び赤字国債の償還については、発行してから60年で償還し終えるという60年償還ルールが採用されている。一方、復興債については、特定の償還財源があるため、60年償還ルールの適用対象とはなっていない。

【No. 42】 我が国の財政の状況に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。ただし、令和元年度及び令和2年度の一般会計当初予算については、「臨時・特別の措置」を含むものとする。

1. 一般会計当初予算の規模の長期的推移についてみると、平成元年度は約30兆円であったが、その後、急速に拡大し、平成15年度には約65兆円となった後、平成29年度から令和3年度までは5年連続で100兆円を超える規模となっている。
2. 一般会計歳出の主要経費について令和3年度(当初)を平成2年度(決算)と比較すると、この約30年間で国債費は約3.5倍と最も増加率が高くなっており、社会保障関係費も約1.4倍となっている一方、公共事業関係費は、3分の1未満となっている。
3. 一般会計当初予算の歳入のうち税収についてみると、平成28年度には60兆円を超え、令和3年度まででの最高額となったが、その後、令和3年度まで減少傾向で推移している。一方、一般会計当初予算の歳入の公債依存度は、平成20年度から令和2年度まで上昇傾向で推移している。
4. 令和3年度における一般会計当初予算の歳出のうち、社会保障関係費についてみると、40兆円を超え歳出全体の3割強を占めており、前年度当初予算と比較すると約3兆円増加している。また、令和3年度における当該歳出では、12兆円を超える規模の新型コロナウイルス感染症対策予備費が計上されている。
5. 令和3年度における一般会計当初予算の歳入についてみると、消費税が約20兆円となっており、所得税や法人税よりも多い。一方、公債金は40兆円を上回っており、このうち、特例公債が8割以上を占めている。

【No. 43】 我が国の経済の動向に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 総務省「労働力調査」により、2020年7月から2021年6月までの各月における、64歳以下の男女の正規・非正規の雇用者数(役員を除く。)について、2019年における同じ月と比較すると、男性では正規・非正規のいずれの雇用形態においても減少傾向であった一方、女性では正規雇用が増加傾向、非正規雇用が減少傾向で推移した。
2. 内閣府「国民経済計算」により、実質GDP成長率(前年度比)をみると、2020年度は、新型コロナウイルス感染症の影響等により、1995年度以降では、リーマン・ショック時の2008年度に次ぐ過去2番目に大きい落ち込みとなった。また、四半期別の実質GDP成長率(季節調整済前期比)は、同感染症の影響により2020年4-6月期に大きく落ち込んで以降、2021年4-6月期までマイナス成長が続いた。
3. 厚生労働省「毎月勤労統計調査」により、2020年初以降の名目賃金の動向を現金給与総額(就業形態計、前年同月比)でみると、新型コロナウイルス感染症の影響等により、2020年3月にマイナス幅(%)が最大になって以降、2021年6月までマイナスが続いた。
4. 財務省「貿易統計」により、2020年7月から2021年6月までの我が国の輸出(2020年1月=100)の推移をみると、対世界の輸出数量は、海外経済の回復を背景に緩やかに増加してきたが、2021年6月時点で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の2020年1月の水準の7割程度に留まっている。特に、東南アジアを中心とした感染再拡大の影響もあり、輸出金額全体の3割近くを占めるアジア向け輸出の回復が低調であった。
5. 内閣府「国民経済計算」により、2020年4-6月期から2021年4-6月期までの国内家計最終消費支出(四半期別、実質季節調整値)の推移を形態別(耐久財、半耐久財、非耐久財、サービス)にみると、サービスの消費は新型コロナウイルス感染症の感染拡大前の2019年10-12月期の水準を回復したものの、耐久財の消費は当該水準を回復しなかった。

【No. 44】 2010年代以降の我が国の金融政策に関するA～Dの記述を、古いものから順に並べたものとして妥当なのはどれか。

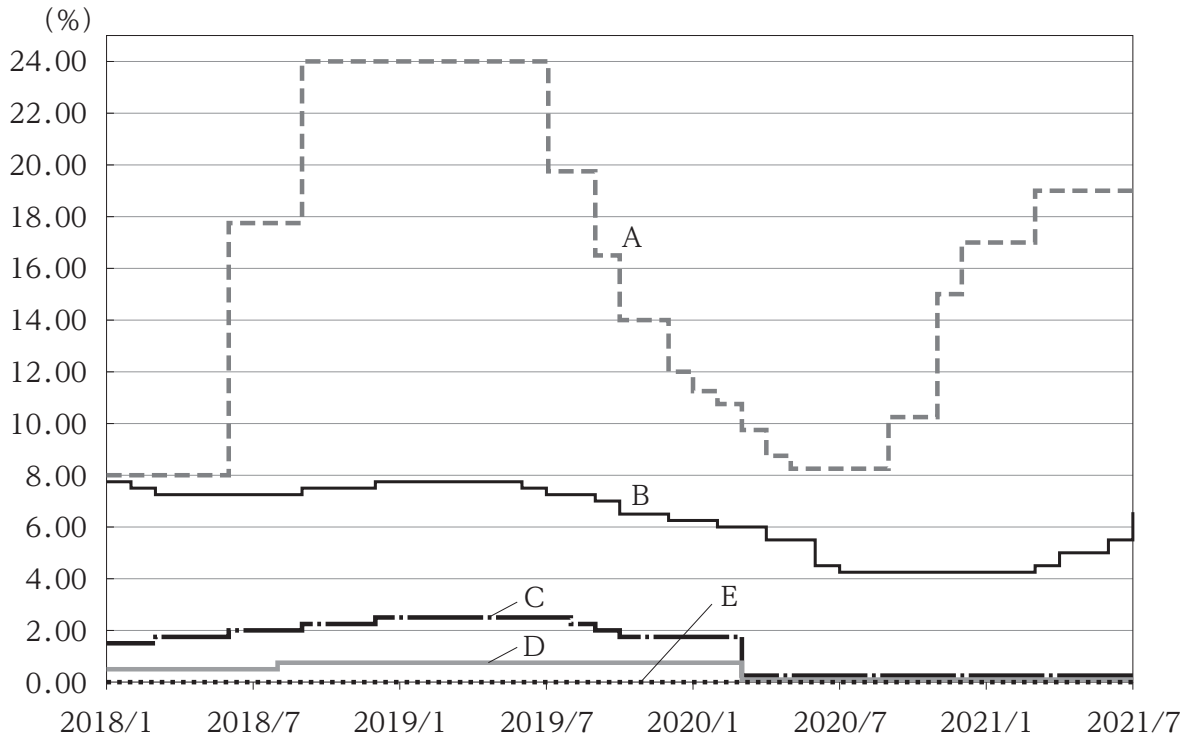
- A. 「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」を導入し、金融機関が保有する日本銀行当座預金に－0.1%のマイナス金利を適用し、今後は「量」、「質」、「金利」の三つの次元で緩和手段を駆使して、金融緩和を進めていくこととした。
- B. 「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」を導入することを決定した。その主な内容は、第一に、長短金利の操作を行う「イールドカーブ・コントロール」、第二に、消費者物価上昇率の実績値が安定的に2%の「物価安定の目標」を超えるまで、マネタリーベースの拡大方針を継続する「オーバーシュート型コミットメント」である。
- C. 強力な金融緩和を粘り強く続けていく観点から、政策金利のフォワードガイダンスを導入することにより、「物価安定の目標」の実現に対するコミットメントを強めることとした。当該フォワードガイダンスは、予定されている消費税率引上げの影響を含めた経済・物価の不確実性を踏まえ、当分の間、現在の極めて低い長短金利の水準を維持することを想定している。
- D. 消費者物価の前年比上昇率2%の「物価安定の目標」を、2年程度の期間を念頭に置いて、できるだけ早期に実現するため、マネタリーベース及び長期国債・ETFの保有額を2年間で2倍に拡大するなど、量・質ともに次元の違う金融緩和を行うことを決定した。

- 1. B→A→D→C
- 2. B→C→D→A
- 3. C→B→D→A
- 4. D→A→B→C
- 5. D→C→A→B

【No. 45】 図のA～Eは、ユーロ圏、英国、米国、ロシア、トルコの政策金利(各月末時点)の推移を示している。A～Eに該当する国又は地域の組合せとして妥当なのはどれか。

なお、A～Eはユーロ圏における主要リファイナンス・オペ金利、米国におけるフェデラル・ファンド金利(FF金利)など各国・地域における主要な政策金利を示しており、2021年7月末時点の政策金利は、Aが19%、Bが6.5%、Cが0.25%、Dが0.1%、Eが0%である。

ただし、米国については、FF金利誘導目標の上限を示している。



	A	B	C	D	E
1.	ロシア	トルコ	ユーロ圏	英国	米国
2.	ロシア	トルコ	英国	ユーロ圏	米国
3.	ロシア	トルコ	米国	ユーロ圏	英国
4.	トルコ	ロシア	ユーロ圏	英国	米国
5.	トルコ	ロシア	米国	英国	ユーロ圏

No. 46～No. 50 は経営学です。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 46】 企業の戦略に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. M. E. ポーターは、業界の競争の程度に影響を及ぼす要因として、業者間の敵対関係、新規参入の脅威、顧客の交渉力などの五つを挙げた。このうち、新規参入の脅威についてみると、行政により許認可権が行使されている場合などは参入障壁が高くなり、新規参入が行われにくくなることがある。
2. J. B. バーニーは VRIO フレームワークを提唱し、競争優位をもたらす要素の特徴として、価値、希少性、模倣困難性、機会の四つを挙げた。このうち、価値についてみると、何らかの価値ある有用な資源が他社にあり、その資源が自社にない場合、自社は他社と研究開発などで競争して、その資源を獲得する必要がある。
3. 企業がコストリーダーシップ、差別化、集中化などの競争戦略を採る場合、いずれか一つの戦略のみに固執すると、当初は順調な成長が持続していたとしても、成長の途中で成長率が大きく鈍化する状況がみられる傾向にある。このような状況は、スタック・イン・ザ・ミドルと呼ばれる。
4. 家庭用ゲーム機などでデファクト・スタンダードを獲得するためには、消費者の 30 % 程度に先に普及させる必要があるとされており、その分岐点はクリティカル・マスと呼ばれている。クリティカル・マスは、新製品導入に関する時期別採用者数の推移を示す普及曲線における、前期多数採用者が製品のユーザーになる時期と重なっている。
5. 差別化戦略の方向性には大別して水平的な差別化と垂直的な差別化がある。水平的な差別化は、統一的な価値尺度の下で、大多数の消費者が個々の製品のランク付けができる場合に実行可能なものである一方、垂直的な差別化は個人の好みによって評価が分かれる個人別の基準の下で行われるものである。

【No. 47】 経営組織に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. A. D. チャンドラーは、多数の製品を扱うようになった企業が、事業部制組織から機能別組織を経てマトリクス組織へと移行することにより業績を最大化できることを明らかにし、部門間でやり取りされる資源の重要性や各部門の資源利用への裁量権、特定部門への資源の集中度により定まる部門間の資源依存度に従って最適な組織構造が決まるという資源依存理論を提唱した。
2. 取引コスト理論においては、取引相手が少数である場合には、企業は相手の事業機会を最優先にすることで自社の利益も高めようとする機会主義的な行動をとるようになるので、取引相手が多数である場合と比べて、裏切りのリスクが低下して契約交渉に要する手間を省くことができるため取引コストが低くなるとされる。
3. H. サイモンによる組織均衡論においては、組織の参加者とは従業員のことを指し、投資家と顧客は組織の外部環境として扱われる。組織の参加者は組織から誘因を受け取り、その見返りとして組織に対して貢献を行う。組織が存続するために組織の参加者から貢献を確保することができている程度を組織の有効性という。
4. 組織間のネットワークにおいて、埋め込まれた紐帯と呼ばれるつながりは、信頼やきめ細かい情報のやり取り、協同での問題解決という面で組織にとって有利であり、現状の環境に対する適合度を高めることができるが、埋め込みが過剰になると、新しい情報を獲得しづらくなることなどから組織の適応力が弱まる危険性がある。
5. J. ガルブレイスは、不確実性を、「組織が既に持っている情報量」と、「活動を行うために必要な情報量」の和であるとした。この不確実性が高い場合には、組織は無用の混乱を避けて必要な情報処理量を減らすために、スラック資源を削減することが有効であるとされる。

【No. 48】 技術経営に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. W. J. アバナシーとJ. M. アッターバックは、ドミナント・デザインが初めて登場する固定期においては、開発すべき製品機能が明確になるので、製品イノベーションの発生頻度が最も高くなるが、その影響を受けて、生産工程で用いられる設備の汎用化が進むため工程イノベーションの発生頻度が最も低くなるとした。
2. インテグラル型アーキテクチャの製品においては、構成部品間の独立度合いが高く、部品間のインターフェースが標準化されているため、各部品を設計している部署間での緊密な相互調整が不要となる。そのため、開発活動で生じる問題を開発プロセスの最後に一括で解決する方式であるフロント・ローディングにより開発コストを大幅に削減できる。
3. H. W. チェスブロウは、イノベーションのタイプとして、技術を積極的に開示する方法であるテクノロジー・プッシュにより生じるものをオープン・イノベーション、顧客ニーズに密着する方法であるダイヤモンド・プルにより生じるものをクローズド・イノベーションと呼んだ。彼は、オープン・イノベーションは他社による技術の模倣リスクが高いという限界を指摘し、クローズド・イノベーションへの転換を図ることが必要であるとした。
4. 野中郁次郎らは、組織における知識創造活動を暗黙知と形式知の変換過程として概念的に記述した SECI モデルを提唱した。このモデルでは四つの知識変換モードが想定されており、それらのうち「表出化」においては、暗黙知が、個人の思考や人々との対話を通じてメタファー、アナロジー、仮説など様々な形をとりながら、明示的な形式知へと変換される。
5. E. ゴールドラットは、制約条件の理論(TOC)において、ある生産システムにおける最も生産能力が高い工程をボトルネックと呼び、この工程がフル稼働できるようにするために、ボトルネックの工程の生産ペースに他の工程がタイミングを合わせ生産ペースを上げたり、ボトルネックの工程に対して生産能力が最も低い工程から人員を移動させたりすることが必要であるとした。

【No. 49】 国際経営に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. H. V. パールミュッターが提唱した国際人的資源管理における EPRG プロファイルにおいては、経営志向は、本国人材が海外子会社の主要ポストを占める「ポリセントリック(P)」、現地ことは現地スタッフに任せる「エスノセントリック(E)」、第三国籍人材が活用される「レジオセントリック(R)」などに分類され、これらの経営志向は固定的であるため、互いに、他の経営志向には転換しないとされた。
2. G. ハメルが提唱した I-R グリッドは、本国組織と現地組織の統合の実現度合い(I)と、本国で開発された技術の複製可能性の度合い(R)の 2 軸により構成され、両者において高い水準を達成できる組織はグローバル型組織と呼ばれる。
3. J. バーキンショーと N. フッドは、海外子会社の役割は、「現地環境による影響」「現地従業員の比率」「本社からの役割の付与」「海外子会社のイニシアチブ」「海外子会社の技術水準」という五つの要因から決定されるとした。また、「海外子会社のイニシアチブ」が発揮されると、あらかじめ本社から付与された役割を果たすことができなくなるので、当該イニシアチブの発揮をなるべく抑えるべきであるとした。
4. R. バーノンが提唱したプロダクト・サイクル仮説では、既に本国において獲得された知識の優位性に基づき複数の海外市場を対象に新製品を提供するメタナショナル経営が提唱された。その利点として、資源や能力の多くが本国に集中され、海外子会社は親会社の戦略を実行することによって、規模の経済による効率性を最大化できることが挙げられる。
5. P. ゲマワットが提唱した CAGE フレームワークにおいては、多国籍企業が、現地の状況を理解できずに経営判断を誤ったり、コミュニケーションや交渉に失敗したりする要因となる、国・地域間に存在する隔たりとして、「文化」「制度・政治」「地理」「経済」という四つの要素が取り上げられている。

【No. 50】 ミクロ組織論に関するA～Dの記述のうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

- A. ホーソン実験は、科学的管理法の考えを前提に作業環境や条件などと生産性の関係を発見することを目的に行われた。しかし、その結果として、従業員の生産能率について、物理的な環境条件よりも、インフォーマルな組織や社会的承認の存在といった従業員の心理的なものに依存するところが大きいことが分かった。
- B. D. マグレガーのX理論・Y理論において、X理論に基づき人間の管理をする場合、管理者は組織メンバーが組織目標の達成に努力することで、メンバー自身の満足も得られるような条件を作成することになる。しかし、そのような条件の作成は非常に困難で、具体的方法がないことから、Y理論に基づく命令と統制による管理が望ましいとされた。
- C. F. E. フィードラーは、あるリーダーにとって、そのリーダーが置かれた状況の好ましさの程度を、状況好意性と呼び、状況好意性の高低により有効なリーダーシップは異なることを指摘した。このように、適切なリーダーシップはその時々状況に応じて変化するという考えを、リーダーシップのコンティンジェンシー理論という。
- D. オハイオ州立大による研究では、リーダーシップ・スタイルを「構造づくり」と「権力」の2次元で捉えている。「構造づくり」は、部下が効率的に職務を遂行するための環境を整える行動、「権力」は、リーダーの職位に基づく権限の強さであり、「構造づくり」が高く、「権力」も強いHiHi型のリーダーシップがより高い成果をあげることが明らかになった。

1. A, B
2. A, C
3. B, C
4. B, D
5. C, D

No. 51～No. 55 は**国際関係**です。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 51】 国際政治の理論をめぐる議論に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 人間の性格は利他的であっても、国際政治は主権国家がそれぞれの国益を追求して形成される権力政治(パワー・ポリティクス)の性格を持つと考える見方を、政治的リアリズムと呼び、第一次世界大戦後の時代の英国の国際政治学において大きな影響力を持った。
2. 古典的リベラリズムは、国家の主権を制限して国際社会における平和を維持すべきだと考える見方を指す。文化的な相互信頼や、民主主義国は相互に戦争をしないという国際社会論を強調したりする立場も、リベラリズムとして理解される。
3. 下部構造の経済の在り方が政治や文化を決定すると考えるマルクス主義的な見方は、帝国主義を自由主義の歴史の中で位置づけた V. レーニンや、中心が周辺を従属させていると考える国家中心主義システム論を唱えた I. ウォーラーステインの議論などにみられる。
4. 社会構成員の間の認識に注目し、規範が行動に与える影響や、規範が形成される過程を強調する見方は、コンストラクティヴィズムと呼ばれる。構造と代理人(エージェント)の相互関係に着目する視点で、国家の対外政策と規範や文化との関係を分析する。
5. S. ハンチントンは 1989 年の東欧諸国の革命を見て、自由民主主義が普遍的なイデオロギーとなったと考えて、「冷戦の終わり」を論じた。これに対して、権威主義体制の勢力の復活によって大国の間で争いが起こり続けるとする「文明の衝突」を主張する見方もある。

【No. 52】 20世紀に作られた安全保障の仕組みに関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 第一次世界大戦後の国際秩序に「民族自決」の考え方を導入することを「14か条」で唱えた米国のF.ローズヴェルト大統領は、それを「ワシントン体制」の中核をなす国際連盟の設立を通じて実現しようとした。ただし米国は、議会が反対したため国際連盟に参加できなかった。
2. 国際連盟が大国の離反を招いて機能しなかった反省から、1945年に設立された国際連合では、安全保障理事会において第二次世界大戦の戦勝国である米・英・ソの三大国に拒否権が与えられた。後の安保理改革の際に、拒否権を持つ常任理事国は5か国に増加した。
3. 冷戦時代に米国を中心とする自由主義諸国は、ワルシャワ条約機構(WTO)を設立したが、ソ連を中心とする共産主義諸国は、北大西洋条約機構(NATO)を設立して対抗した。両者の設立根拠となったのは、国連憲章第51条に定められた集団安全保障である。
4. 第二次世界大戦後に米国は、日本、韓国、フィリピンなどの東南アジア諸国連合(ASEAN)諸国、オーストラリア、ニュージーランドと安全保障条約を結び、アジア太平洋地域でも地域機構による集団防衛体制を導入した。
5. 冷戦中に生まれた国連平和維持活動を、D. ハマーショルド国連事務総長は「憲章6章半」の活動と呼んだ。ただし、冷戦後の国連平和維持活動は、頻繁に憲章第7章の権限を与えられ、更に多数の文民職員も動員して広範な活動を行うようになった。

【No. 53】 冷戦後の国際社会に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 1990年代初頭、イラクによるクウェートへの軍事侵攻に対し、米国は、国際連合安全保障理事会の決議のないまま英国など一部の国と多国籍軍を組織してイラクを攻撃し(湾岸戦争)、同戦争に敗れたイラクは米国の制裁下に置かれることとなった。当時、米国が他国との交渉や多国間での枠組みを嫌って単独行動をとった傾向は、単独行動主義(ユニラテリズム)として米国内外から批判が強まった。
2. 2001年、米国ニューヨーク州のエンパイア・ステート・ビルやワシントン D. C. の国務省などが同時に攻撃される同時多発テロが発生した。米国の G. W. ブッシュ政権は、このテロをイスラム過激派組織 ISIL(イラク・レバントのイスラム国)が実行したと断定し、「テロとの戦い」を掲げ、当該組織を支援するタリバン政権が支配するアフガニスタンへの攻撃を行った。
3. 東南アジアでは、ベトナム戦争終結やカンボジア和平以降、地域内における各国の協力関係が深められ、2000年代に東南アジア諸国連合(ASEAN)の加盟国は5か国から10か国へ増加した。一方、安全保障面においては、ASEAN地域フォーラム(ARF)が2014年に初めて開催されたが、参加したのはASEAN加盟国の閣僚のみであり、政治的に不安定な国もあることから、閣僚級の会合はその後開催されていない。
4. ヨーロッパにおいては、1993年に発効したロンドン条約を批准した全ての欧州連合(EU)加盟国が同条約の発効直後から単一通貨(ユーロ)を導入し、その後1990年代末までにEUに加盟した東欧諸国など10か国も加盟と同時にユーロを導入した。一方、一部の東欧諸国や旧ソ連圏では、冷戦終了後に中央政府の権力が弱まったことなどから、コソボ紛争やグルフル紛争などの民族紛争が発生した。
5. 2010年代初頭に北アフリカのチュニジアで発生した反政府デモを発端として、中東・北アフリカ地域の各国で本格化した一連の民主化運動は「アラブの春」と称され、チュニジア、エジプト、リビアでは長期間続いた独裁政権が崩壊した。こうした民主化運動の背景にはソーシャルネットワークワーキングサービス(SNS)の普及による市民の間での情報共有があったといわれる。

【No. 54】 国際機関の活動や国際的な取決めに関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 1990年代のボスニア・ヘルツェゴビナとルワンダにおける国際人道法違反の行為に対応して、国際連合安全保障理事会は特別な国際刑事裁判所を設立した。2002年には、多国間条約であるローマ規程に基づいて常設の機関として国際刑事裁判所(ICC)が設立された。
2. 欧州連合(EU)は、1973年に発効したヨーロッパ連合条約(マーストリヒト条約)によって誕生した。2007年に調印されたリスボン条約は、欧州理事会議長を常任化し、外務・安全保障政策上級代表の機能を弱めて、EUとして積極的な外交を行う難しさを示した。
3. アジア太平洋地域の文化交流協定として、2016年に同地域の12か国が環太平洋パートナーシップ(TPP)協定を調印した。その後米国が脱退し、日本は交渉に参加しないまま、2018年に環太平洋パートナーシップに関する包括的及び先進的な協定(CPTPP)が締結されて発効した。
4. キューバ・ミサイル危機の翌年の1963年に包括的核実験禁止条約が署名のために開放され、1968年には核不拡散条約が署名のために開放されて、核兵器を自由に拡散できる核兵器国と、開発・製造・保有を禁止された非核兵器国を区別した核不拡散体制が形成されていった。
5. 持続可能なエネルギー問題に対して、1992年に温室効果ガス排出量の削減を目的とした国連気候変動枠組条約が締結されると、1997年の第3回締約国会議では排出量の削減を義務化する京都議定書が合意された。ただし、米国が義務を負わなかったため、後に多くの途上国が離脱した。

【No. 55】 次の英文は、それぞれ国連憲章の条項の一部である。この中で集団安全保障の強制措置を定めたものとして妥当なのはどれか。

1. All Members shall refrain in their international relations from the threat or use of force against the territorial integrity or political independence of any state, or in any other manner inconsistent with the Purposes of the United Nations.
2. Nothing contained in the present Charter shall authorize the United Nations to intervene in matters which are essentially within the domestic jurisdiction of any state or shall require the Members to submit such matters to settlement under the present Charter; but this principle shall not prejudice the application of enforcement measures under Chapter VII.
3. In order to ensure prompt and effective action by the United Nations, its Members confer on the Security Council primary responsibility for the maintenance of international peace and security, and agree that in carrying out its duties under this responsibility the Security Council acts on their behalf.
4. Should the Security Council consider that measures provided for in Article 41 would be inadequate or have proved to be inadequate, it may take such action by air, sea, or land forces as may be necessary to maintain or restore international peace and security. Such action may include demonstrations, blockade, and other operations by air, sea, or land forces of Members of the United Nations.
5. Nothing in the present Charter shall impair the inherent right of individual or collective self-defence if an armed attack occurs against a Member of the United Nations, until the Security Council has taken measures necessary to maintain international peace and security. Measures taken by Members in the exercise of this right of self-defence shall be immediately reported to the Security Council and shall not in any way affect the authority and responsibility of the Security Council under the present Charter to take at any time such action as it deems necessary in order to maintain or restore international peace and security.

No. 56～No. 60 は**社会学**です。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 56】 社会学の理論に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. T. パーソンズは、オートポイエーシスの概念を社会学に導入し、社会システムはその構成要素であるコミュニケーションを人間の心的システムから連続的に取り込むことによって、社会システム自体の秩序を安定させるとした。
2. G. ジンメルは、人々が複数の社会圏に参加するようになると、それぞれの社会圏が個人に課す規範の圧力が強くなるため、個人の個性の発達が抑制されるとした。同様に、多くの人々が集まる大都市では、様々な規範の圧力が生じるため、個人的自由が形成されにくいとした。
3. H. G. ブルーマーは、シンボリック相互作用論の三つの前提として、第一に、人間はものごとに意味を付与し、その意味に基づいて行動するということ、第二に、意味は社会的相互作用の中から形成されるということ、第三に、意味は人間によって解釈されるということ挙げた。
4. N. ルーマンは、個人が定めた目的を各人が自由に追求する結果、社会秩序が維持されなくなるという問題をホップズの秩序問題として定式化し、行為者が互いの利害を一致させ、自由意志に基づく契約を結ぶという主意主義的行為を採用することで解決するとした。
5. E. ゴフマンは、パフォーマーやオーディエンスがプレイやゲームを通して段階的に学習した役割を「一般化された他者」と呼び、相互行為の秩序は、行為者がドラマの演技者と同様、与えられた役割から距離をとることなく没頭し、それを忠実に演じることで初めて維持されるとした。

【No. 57】 社会集団についての学説に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. J. オルテガ・イ・ガセットは、『聖なる天蓋』において、群衆の非合理性を説いた。特に、祝祭などの儀礼を行う聖の時空間に人々が集合することで発生する非日常的な興奮状態に着目し、これを集合沸騰と呼んだ。
2. G. ル・ボンは、『群衆心理』において、暗示により扇動され不善をなすような存在という、それまでの群衆のイメージを否定して、その合理性を説き、行為者の合理的な行為が集積した結果として社会現象を説明した。
3. G. タルドは、『世論と群衆』において、公衆を、個人が同一空間に集合することで成立する一時的な現象と捉えた。個人間の相互作用を必要とする群衆に対し、公衆は相互作用を必要としないため、暗示や模倣が生じず、精神的集合体になりにくいとした。
4. W. コーンハウザーは、『大衆社会の政治』において、大衆社会論を貴族主義的批判と民主主義的批判に分類した。さらに、エリートへの接近可能性と非エリートの操縦可能性という二つの変数の高低により社会類型を区分し、前者が高く後者が低い社会を多元的社会とした。
5. D. リースマンは、『孤独な群衆』において、社会の発展に伴い、社会的性格が、「伝統指向型」から、慣習と儀礼の体系に従う「他人指向型」を経て、内集団に準拠する「内部指向型」へと発展すると論じた。

【No. 58】 M. ヴェーバーの学説に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 『プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神』において、世俗外禁欲が求められるプロテスタントが、あらゆる欲望を肯定する近代資本主義に反発し、職業労働を拒んだために、近代資本主義の発展が抑制されたと論じた。
2. 方法論的個人主義の立場を採り、個人の行為は、動機などの主観的意味ではなく、客観的事実である行為の結果によって理解されるとした。さらに、個人間の相互作用による関係形成を社会化と呼び、社会化の形式を対象とする専門科学として形式社会学を提唱した。
3. 命令と服従から成る支配という現象を、その正当性を基準にして分類し、支配の4類型を示した。その一つである伝統的支配の典型として官僚制を挙げ、官僚制によって、正確性、迅速性、継続性などが達成されるとした。
4. 法律・政治制度、社会意識・イデオロギーなどを社会全体の土台とし、その上に、生産力と生産関係から成る生産様式が形成されるとした。生産力が発展すると、それまで対応関係にあった生産関係との間に矛盾が生まれ、これにより社会変動が引き起こされるとした。
5. 社会科学における客観性について、研究者の主観的な視点を前提としつつも、事実認識と価値判断を峻別し、価値判断を自覚的にコントロールする態度こそが客観的な態度であると主張し、これを価値自由と呼んだ。

【No. 59】 情報社会に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. M. マクルーハンは、活版印刷技術の普及により、視覚を中心とする感覚の編成が進むとともに社会全体も視覚経験に従って再編されていくが、テレビのような電子のメディアが登場することにより、再び感覚と社会の編成が大きく変化していくとした。
2. D. ベルは、産業革命以降に発展した機械技術とエネルギーを利用し、作業の合理化を押し進める先進資本主義が、イデオロギーの復権とともに、情報産業とサービス業が発展し、科学的な研究開発、理論的知識が社会を主導する科学的社会主義に移行するとした。
3. P. ラザーズフェルドは、インターネット上の意見分布の調査を行い、少数派の意見の持ち主はインターネット上で批判と孤立を恐れて投稿を躊躇^{ちゅうちよ}する傾向があるため、多数派の意見がますます存在感を高めていくとする「コミュニケーションの二段の流れ」を提唱した。
4. W. リップマンは、社会構築主義の立場から、現実は行為者による外化、客観化、内在化という三つのプロセスから構成されるとし、そこから生まれる疑似環境と、メディアが提供するイメージによって思い描かれる現実環境とは区別されなければならないとした。
5. 政治が安定化した1950年代、M. マコームズとD. ショーは、メディアが現実の出来事の中から何を取捨選択し、どのくらいの規模で論じるかを決定することにより、議論すべき焦点を人々に強く訴えるという皮下注射モデルを提唱した。

【No. 60】 国際社会の変化に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. I. ウォーラーステインによると、資本主義経済システムとしての世界システムは、システムの内部に中心・反中心・周辺の三層の空間構造を有しており、世界システムの誕生以来、こうした中心・反中心・周辺に属する国と地域は変動していないとされる。
2. 日本に居住する外国人のうち、第二次世界大戦以前から日本に滞在・居住している在日中国人や在日韓国・朝鮮人などをオールドカマー(オールドタイマー)と呼ぶのに対して、戦後、特に1980年代頃から新たに来日した外国人をニューカマーと呼ぶ。
3. プッシュ=プル理論とは、先進社会と発展途上社会との間にある雇用の大きさや賃金の格差よりも、本国のコミュニティと相手国にあるコミュニティを含めた社会的ネットワークが果たす役割に注目することによって、企業が海外投資を行う要因を説明しようとする理論である。
4. A. R. ホックシールドのいうグローバルなケア・チェーンとは、原材料の調達から生産、流通、販売、消費に至る世界規模のネットワークを指し、例えば、発展途上社会の労働者が先進社会の企業が所有する現地工場で生産労働に従事することも含まれる。
5. B. アンダーソンのリスク社会論によると、富の分配をめぐる対立が紛争の中心となる産業社会に対し、リスク社会では、リスクをいかに分配するかが問題となる。したがって、環境ホルモンなど知覚しにくいものは、分配が困難なため、ここでいうリスクには含まれない。

No. 61～No. 65 は心理学です。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 61】 次は、記憶に関するある実験の概要であるが、この実験と関連の深い記憶の区分や用語として妥当なのはどれか。

15 語程度の単語のリストから 1 語ずつ、一定の時間間隔で実験参加者に提示した。実験参加者は、単語の提示が終了した直後に、思い出すことのできる単語を、順序に関係なくできるだけ多く答えるという「自由再生」を多数回行った。リスト内の各位置についての再生成績を集計した結果、リストの初頭部と終末部に位置する単語の再生成績が、中央部に位置する単語に比べて高くなった。一方、単語の提示後に 30 秒程度の計算課題を行い、その後に自由再生を行った場合は、リストの中央部に比べて、初頭部の再生成績は高くなったが、終末部の再生成績が高くなることはなかった。

1. エピソード記憶と意味記憶の区分
2. 短期記憶と長期記憶の区分
3. 転移適切性処理
4. 潜在記憶と顕在記憶の区分
5. 意味ネットワーク

【No. 62】 次は、古典的条件づけの実験に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

古典的条件づけの系統的な実験を初めて行ったのはI. P. パブロフである。通常、イヌは、食べ物として口に肉粉を与えられると唾液を分泌するが、メトロノームの音を聞いただけでは唾液を分泌しない。すなわち、メトロノームの音は、本来は唾液分泌反応を引き起こすことのない **A** 刺激である。パブロフは、イヌの口に肉粉を与える際に、メトロノームの音を対にして提示する手続を繰り返し行った。その結果、イヌはメトロノームの音を聞いただけで唾液を分泌するようになった。

肉粉に対する唾液分泌は学習に基づく反応ではないことから、パブロフは、肉粉を **B** 刺激、唾液分泌反応を **B** 反応と呼んだ。これに対して、古典的条件づけの手続により、それだけで唾液分泌を引き起こすようになったメトロノームの音は **C** 刺激、それによって生じる唾液分泌は **C** 反応と呼ばれる。

パブロフの研究の影響を受けた **D** は、「アルバート坊や」で知られる生後11か月の乳児を対象に実験を行い、恐怖反応が古典的条件づけによって学習されることを示した。この乳児は、恐怖反応を引き起こす刺激(大きな音)とシロネズミを繰り返し対にして提示する手続により、実験の前には怖がらなかったシロネズミに恐怖反応を示すようになったという。

	A	B	C	D
1.	中性	無条件	条件	J. B. ワトソン
2.	中性	条件	無条件	J. B. ワトソン
3.	条件	無条件	中性	B. F. スキナー
4.	無条件	中性	条件	J. B. ワトソン
5.	無条件	条件	中性	B. F. スキナー

【No. 63】 防衛機制に関するA～Dの記述のうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

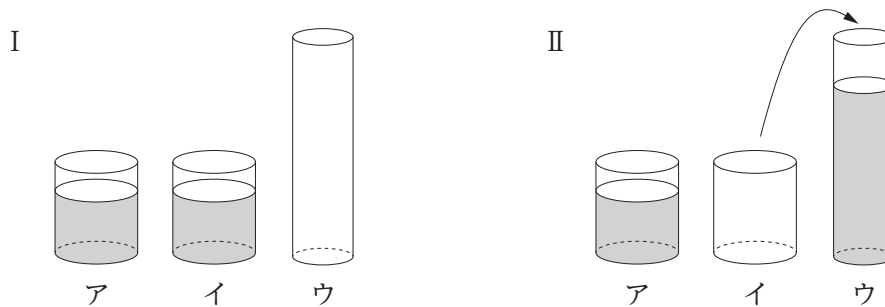
- A. 子供に対して拒否感を持つ人が、その子供に対して過度に愛情を注ぐなどのように、受け入れ難い衝動や願望を抑圧し、それとは正反対の行動や態度をとることを「投影」又は「投射」という。
- B. 攻撃的な衝動をスポーツに向ける、性的な感情を芸術活動に向けるなどのように、社会的に受け入れられない衝動や欲求を、社会的に受け入れられる行動に変容して満足させることを「昇華」という。
- C. 自分が相手に対して持っている敵意を抑圧し、逆にその相手が自分に敵意を持っていると考えるなどのように、相手に向かう衝動や欲求を、その相手が自分に対して向けていると思うことを「反動形成」という。
- D. 小学校に入学した直後の子供が、やめていた指しゃぶりを再び始めるなどのように、困難な事態に直面したときに、過去の発達段階における未成熟な行動様式に戻ることを「退行」という。

- 1. A, B
- 2. A, D
- 3. B, C
- 4. B, D
- 5. C, D

【No. 64】 次は、子供を対象としたある課題についての説明であるが、A、B、Cに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

下図のような容器ア、イ及びウがある。アとイは、同形同大の容器であり、ウは、底面がア及びイよりも小さく、高さがア及びイよりも高い。

まず、Iのようにア及びイに同量の水を入れ、アとイに入れた水の量が同じであることを子供に確認する。次に、子供の目の前で、IIのようにイに入っている水をウに移し、アとウでは、どちらの水が多いかを質問する。



この課題では、「物の量は、その形が変わったとしても同じである」という理解のことである

を子供が有しているかを測定している。

J. ピアジェの発達理論において、アとウの水の量が同じであると分かるのは 期以降であるとされ、 期は、 期の次の発達段階である。

A	B	C
1. 保存の概念	具体的操作	感覚運動
2. 保存の概念	具体的操作	前操作
3. 保存の概念	形式的操作	前操作
4. 対象物の永続性	具体的操作	形式的操作
5. 対象物の永続性	形式的操作	感覚運動

【No. 65】 集団の中の個人に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 他者が見物人又は観察者として近くにいるときに作業のパフォーマンスが上がる現象を社会的促進といい、難しい作業を行う場合は、特にパフォーマンスが向上する。こうした他者の存在によるパフォーマンスの変化は、同じ作業を行う者がいるときは起こらないとされる。
2. 他者が一緒に作業をしたり、近くにいたりすることにより、作業のパフォーマンスが下がる現象を社会的抑制といい、簡単な作業を行う場合は、特にパフォーマンスが低下する。他方、人が倒れるなどの緊急時では、多くの人がいっても援助行動は抑制されない。これを傍観者効果という。
3. 集団成員の行動や思考の準拠枠のことを流行といい、流行の普及要因を説明する理論は社会的インパクト理論という。この理論では、流行は、当事者にとっての問題の重要性と状況の曖昧さの積に比例するとされている。
4. 個々人の行動や信念が所属集団の基準に一致する方向へと変化する現象を同調という。S. E. アッシュは、線分の長さを比較判断するという一人で行う場合はほとんど誤らないような簡単な課題であっても、実験参加者は、周囲の人が皆誤った判断を示すと、その判断に影響され得ることを実験から示した。
5. 集団のヒエラルキー構造の上位にいる者の明示されない真意を押し量り、それに従う行動を服従という。S. ミルグラムは、人間に電気ショックを与えるという危険な課題であっても、実験参加者は、上位者の指示なく、自発的に危険な電圧の電気ショックを与えてしまい得ることを実験から示した。

No. 66～No. 70 は**教育学**です。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

【No. 66】 西洋の教育思想に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. アテナイでは、自由と正義を重視したスパルタと異なり、教育は兵役準備の性格を持つものとして捉えられ、国民の生活と教育を国家管理の下に置くものとされた。また、子供は国家の所有物とされ、軍事訓練、スポーツなどを重視する国家主導型の教育が行われた。
2. ソクラテスは、当時のアテナイの市民が「自分は何も知らない」という「無知の知」を重視したことを批判し、教育者から学習者に直接的に真の知恵を教える問答法(産婆術)と呼ばれる独自の教育法を行った。
3. プラトンは、イデア論を批判して経験を重んじる実証主義の学風を掲げ、リュケイオンに学園を設立し教育活動を行った。『ニコマコス倫理学』のほか、真理を知るために、全てのものの存在を疑うことを提唱して『方法序説』を著した。
4. 古代から中世において、実利や専門志向の知識に価値を置く専門科学の体系が形成され、文法学、修辞学、論理学(弁証法)、算術の四学と、体育、幾何学、天文学、音楽の四科から構成されるリベラル・アーツとして確立された。
5. J. A. コメニウスは、全ての人に全ての事柄を教授することを目指して、あらゆる事柄に関する知識を網羅する汎知学(パンソフィア)の体系化に力を注ぎ、『大教授学』のほか、世界初の絵入り教科書『世界図絵』を著した。

【No. 67】 我が国における不登校に関する次の記述のうち、妥当なのはどれか。

1. 教育機会確保法^{*1}では、国及び地方公共団体が、学校以外の場における学習活動等を行う不登校児童生徒に対する支援を行うために必要な措置を講ずるものとされているほか、不登校児童生徒に対し、民間の団体が、昼間において授業を行う学校における就学の機会の提供その他の必要な措置を講ずるものとされている。
2. 令和元年度の文部科学省通知「不登校児童生徒への支援の在り方について」によれば、教育支援センター(適応指導教室)は、通所希望者に対する支援に特化した不登校児童生徒への支援の中核となることが期待されている。ただし、中学校を卒業した者や私立学校等の児童生徒はその利用が認められないこととされている。
3. 令和元年度の文部科学省通知「不登校児童生徒への支援の在り方について」によれば、義務教育段階の不登校児童生徒が学校外の公的機関やフリースクールなどの民間施設において相談・指導を受けている場合の指導要録上の出欠の取扱いについて、一定の要件を満たす場合に、これらの施設において相談・指導を受けた日数を出席扱いとすることができることとされている。
4. 文部科学省の調査^{*2}において、小学校及び中学校における理由別長期欠席者数については、「児童・生徒指導要録」の「欠席日数」欄の日数により、年度間に連続又は断続して90日以上欠席した児童生徒を対象とし、「家庭環境」、「居所不明」、「不登校」、「その他」の理由別に調査している。
5. 文部科学省の調査によれば、小学校及び中学校の不登校児童生徒数は、平成3年度以降一貫して増加していたものの、教育機会確保法が施行された平成29年度以降減少傾向に転じた。また、小学校及び中学校の不登校児童生徒における不登校の要因の主たるものは、「いじめ」、「進路に係る不安」、「親子の関わり方」の順に多い。

*1 義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律

*2 令和元年度 児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査

【No. 68】 次は、我が国における障害者の生涯学習支援に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

- ・ 障害者の権利に関する条約の批准(平成 26 年)、 の施行(平成 28 年)等に伴い、障害者の学校卒業後の学びや交流の機会整備及び生涯のライフステージを通じた学習活動の充実の必要性が高まっている。
- ・ 文部科学省では、障害者学習支援推進室が中心となって、学校卒業後における学びの支援、福祉、保健、医療、労働等の関係部局と連携した進学・就職を含む切れ目ない支援体制の整備、障害のある子供の自立や社会参加に向けた主体的な取組を支援する 、障害者スポーツや障害者の文化芸術活動の振興等に取り組んでいる。
- ・ 生涯学習の場における物理的環境、人的支援、意思疎通における具体的 の在り方やルール・慣行の柔軟な変更の在り方等の観点から、障害の有無にかかわらず共に学ぶ場をつくるための合理的 の在り方等について調査研究を行うことが求められている。
- ・ 第 3 期教育振興基本計画では、障害者の生涯学習を推進することが目標の一つに掲げられており、それに向けて、地域と学校の連携・協働の下、地域全体で子供たちの成長を支え、地域を創生する を推進するとされている。

	A	B	C	D
1. 障害者差別解消法* ¹		チーム学校	配慮	青少年活動
2. 障害者差別解消法		特別支援教育	配慮	地域学校協働活動
3. 障害者差別解消法		チーム学校	包摂	青少年活動
4. 障害者総合支援法* ²		特別支援教育	包摂	青少年活動
5. 障害者総合支援法		チーム学校	包摂	地域学校協働活動

*1 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律

*2 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

【No. 69】 次は、我が国における文化についての教育に関する記述であるが、A～Dに当てはまるものの組合せとして妥当なのはどれか。

なお、文中の [] については設問の都合上伏せてある。

- ・ 平成29年3月に告示された小学校学習指導要領及び中学校学習指導要領において、古典など我が国の言語文化、都道府県内の主な文化財や年中行事の理解、我が国や郷土の音楽、和楽器、武道、和食や和服などの指導を通じて、[A] や文化に関する教育の充実が目指されている。
- ・ 平成29年3月に告示された小学校学習指導要領において、[B] の目標の一つとして、[] を通じて、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に [] を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養うことが掲げられている。
- ・ [C] は、資料収集・保存、調査研究、展示、教育普及といった活動を一体的に行う施設であり、実物資料を通じて人々の学習活動を支援する施設としても、重要な役割を果たしている。
- ・ [D] では、平成30年10月、新たに学校芸術教育室を設置し、これまで文部科学省本省が所管していた「学校における芸術に関する教育の基準の設定に関する事務」を [D] に移管し、学校教育における全ての子供たちへの芸術に関する教育の充実を図っている。

	A	B	C	D
1.	芸術	社会科	図書館	デジタル庁
2.	芸術	外国語活動	博物館	文化庁
3.	伝統	社会科	図書館	文化庁
4.	伝統	外国語活動	博物館	文化庁
5.	伝統	外国語活動	図書館	デジタル庁

【No. 70】 学校における教育評価に関するA～Dの記述のうち、妥当なもののみを全て挙げているのはどれか。

- A. 到達度評価は、「わかる・できる」という具体的内容の到達を表す規準・基準によって学習状況を明らかにするもので、その実施手順として、①実践の開始時の診断的評価、②実践の途中で状況を把握する形成的評価、③実践の終了時の結果をみる総括的評価、という3段階のプロセスに沿った教育評価を行う。
- B. パフォーマンス評価は、ペーパーテスト中心の評価に対する批判から登場したもので、評価しようとする能力や技能を実際に用いる活動の中で評価しようとするものである。この評価の採点指針として、課題の質を段階的に評価するための採点尺度表であるルーブリックが使用される。
- C. 個人内評価は、絶対評価の一種で、被評価者が持つ多様な側面や複数の特性どうしを比較する縦断的個人内評価と、被評価者の過去と現在を比較してどの程度進歩しているかを判断する横断的個人内評価の二つの方法がある。
- D. ゴール・フリー評価は、「目標に基づく評価」に対して主張されるもので、評価を実施する前に、評価目標を定めない評価のことである。平成13年の文部科学省による指導要録の改善通知により、評価の基本的な枠組みとして、児童生徒一人一人の良い点や可能性、進歩の状況などを評価するため、ゴール・フリー評価への転換が図られた。

- 1. A, B
- 2. A, C
- 3. B, C
- 4. B, D
- 5. C, D

No. 71～No. 75 は英語(基礎)です。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

[No. 71] Select the statement which best corresponds to the content of the following passage.

Jhumpa Lahiri doesn't know what her native language is. She speaks Bengali and English, but since she moved from New York to Rome about a decade ago, she has been writing in Italian, the language she speaks every day.

Then she decided to translate her novel *Whereabouts* into English: "I was curious to see how my voice would emerge back in English filtered through the Italian," she told the online Melbourne Writers Festival. It was an experience that turned her into two people, and left her sometimes spending half a day figuring out one sentence.

Lahiri is an exception. Most writers have neither the skills nor the inclination to translate their own books, which is where invisible translators step in. It's a tightrope-walking feat: using your creative gifts as a writer, but also subordinating them to the spirit of the work you're illuminating.

We have excellent translators in Australia, although you've probably never heard of most of them. This weekend sees an online symposium run by AALITRA (Australian Association for Literary Translation). Publishers and writer-translators such as Elizabeth Bryer, Brigid Maher, Tiffany Tsao and Nadia Niaz will be looking at the state of Australian translation today, and how it could be developed further.

Meanwhile, the online language learning provider Preply has released a report on the most translated books in the world (minus religious texts). What a mixed bag: bestsellers, classics, literature and some surprisingly obscure titles.

Children's classics dominate, such as *The Little Prince* by Antoine de Saint-Exupery (382 languages), *The Adventures of Pinocchio* by Carlo Collodi (300 plus) and *Alice's Adventures in Wonderland* by Lewis Carroll (175 plus). Curiously, the number one from the US is L. Ron Hubbard's Scientology tome, *The Way to Happiness* (112 plus). There's only one book from Australia, Colleen McCullough's *The Thorn Birds* (20 plus). I'm surprised there wasn't a more recent candidate.

In recent years the International Booker Prize has played a big role in promoting quality world literature. The author and translator share the £50,000 (\$94,000) prize for a book translated into English. The 2021 winner, David Diop's *At Night All Blood is Black*, is an

intriguing cultural collaboration between the author (French-Senegalese) and the translator, poet and author Anna Moschovakis (American-Greek).

Very occasionally, a translator becomes famous. That was the fate—none too welcome—that befell Ann Goldstein, translator of the bestselling works of that mysterious and elusive creature Elena Ferrante. The self-effacing copy editor from *The New Yorker* was even feted as Ferrante’s other half, like the two girls in *My Brilliant Friend*. This even though Goldstein and Ferrante have never met.

But most translators remain invisible, and some argue they are not sufficiently recognised or rewarded. Jennifer Croft, who translated Nobel Prize winner Olga Tokarczuk’s *Flights* from Polish into English, says they should have their names beside the authors on the covers of books, because they write every carefully chosen word.

“We are the ones who control the way a story is told; we’re the people who create and maintain the transplanted book’s style,” she writes in *The Guardian*. “Generally speaking we are also the most reliable advocates for our books, and we take better care of them than anybody else.”

In Australia, they certainly take care. Some of the smaller presses, such as Text, Scribe, Giramondo, Black Inc and Cordite, make a point of bringing out fine international titles, such as Penny Hueston’s translations of French writer Marie Darrieussecq, or other English translations of work by Australians who write in a language other than English.

They enrich our bookshelves with creations that we might otherwise never know about, let alone read. All power to them.

1. Jhumpa Lahiri is an unusual author because she was able to translate her novel *Whereabouts* into Italian by herself.
2. Translating a book is difficult because translators need to make sure that their own creative writing skills do not overshadow the work of the original author.
3. After so many meetings with Elena Ferrante, Ann Goldstein has started being referred to as Ferrante’s other half.
4. Nobel Prize winner Olga Tokarczuk argues that translators should have their names beside the authors on book covers.
5. Smaller publishing companies in Australia have been very careful to publish international titles in a variety of languages.

[No. 72] Select the statement which best corresponds to the content of the following passage.

When I die, I want to go peacefully in my sleep, like my grandfather. Not screaming in terror, like the passengers on his bus. If you laughed at that joke, it is because three things happened in your brain in lightning-fast succession. First, you detected an incongruity: You imagined my grandfather lying peacefully in bed, but then you realized he was actually driving a bus. Second, you resolved the incongruity: My grandfather was asleep at the wheel. Third, the parahippocampal gyrus region of your brain helped you realize I wasn't being serious, so you felt amusement. And all of that gave you a little bit of joy.

I realize that after that analysis, you're probably not laughing anymore. "Humor can be dissected, as a frog can," according to the writer E. B. White, "but the thing dies in the process and the innards are discouraging to any but the pure scientific mind." Fair enough. Humor is a serious business for happiness, however, and cultivating the skill of finding humor in life, even during the darkest times, can be the secret to keeping us from despair.

Researchers have theorized that a sense of humor is made up of six basic variables: the cognitive ability to create or understand jokes, an appreciation and enjoyment of jokes, behavior patterns of joking and laughing, cheerful or humorous temperament, a bemused attitude about life, and a strategy of using humor in the face of adversity. A sense of humor, then, can mean either being funny or enjoying funny things.

Consuming humor brings joy and relieves suffering. In a 2010 study from the *Journal of Aging Research*, the researchers gave one group of senior citizens "humor therapy"—daily jokes, laughter exercises, funny stories, and the like—for eight weeks. A control group did not receive this therapy. At the end of the experiment, the people in the first group reported feeling 42 percent happier than they had at the beginning. They were 35 percent happier than the second group, and experienced decreases in pain and loneliness.

However, the type of humor you consume and share matters. Humor can be positive, when it's not intended to belittle or harm others, or when one laughs at one's own circumstances. It can also be negative, when it attacks others or when one belittles oneself. Positive humor is associated with self-esteem, optimism, and life satisfaction, and with decreases in depression, anxiety, and stress. Negative humor follows the exact opposite pattern: While it can feel good in the moment, it exacerbates unhappiness.

For humor to be effective in increasing happiness, timing is everything. If you have ever made light of a tragedy and no one laughed, you might have tried to mitigate the faux pas by asking, "Too soon?" Researchers studying humor in the face of tragedy have found that

jokes can indeed help people cope with grievances and loss. However, the joke can't be too close to or too far from the event in time. Tell a joke during a horrific natural disaster and you will be shunned; tell one about the 1906 San Francisco earthquake and most people won't know what you are talking about. But get it right, and you can provide tremendous relief.

Having this sense of comedic timing requires what social scientists call "humor creation ability," an ability that the authors Jennifer Aaker and Naomi Bagdonas of the book *Humor, Seriously*, credit with many other benefits, such as success in business. Being funny, however, is the one dimension of a sense of humor that does not appear to boost happiness, which is sometimes called the sad-clown paradox. In a 2010 experiment published in *Europe's Journal of Psychology*, researchers asked people to write captions for cartoons and come up with jokes in response to everyday frustrating situations. They found no significant relationship between being funny (as judged by outside reviewers) and happiness or unhappiness. Another study found that professional comedians score above population norms on scales measuring psychotic traits.

Laughter itself is what brings a lot of humor's benefits, not necessarily making other people laugh. Laughter also acts as a social lubricant, making interactions easier even when there is no humor involved. Indeed, one study found that only 10 to 15 percent of laughing is due to anything even remotely humorous. Much of the rest is meant to display emotions such as agreement or simple conviviality. Pay attention to your ordinary interactions today and you will appreciate this.

1. Humor can be found even during the darkest times of one's life, but very few people know the secret that humor can keep people in despair.
2. According to a study from the *Journal of Aging Research*, the group of senior citizens who received "humor therapy" was 42 percent happier than the group who did not receive such therapy.
3. Telling jokes during or about tragic events can be effective in increasing happiness, but it has to be told at the right time.
4. The sad-clown paradox refers to a phenomenon that trying hard to be funny, as judged by outside reviewers, actually makes people very unhappy.
5. Laughter acts as a social lubricant because people are relieved from the pressure of interacting with one another when they are just laughing together.

[No. 73] Select the statement which best corresponds to the content of the following passage.

Visitors leave their clothes and their worries at the wooden entrance to Inari-yu, a sento, or public bathhouse, in northern Tokyo. Inside they join the parade of bathers ambling beneath a mural of a snow-capped Mount Fuji. While perched on small stools, they scrub themselves with soap and rinse off with water poured from cypress-wood buckets. Then they soak together in hot pools, and the strict hierarchies and stiff formalities of Japanese life melt away. To cool down, they sip jars of chilled milk by the koi pond in the sento's courtyard.

Such scenes, once ubiquitous in Japanese neighbourhoods, have become rarer in recent decades. In the 1960s there were more than 2,500 sento in Tokyo alone. Just over 500 remain. But a new generation of sento-philes is working to keep the baths full for the 21st century. Younger sento-owners hope to revive the bathhouses by adding bars, music and event spaces. Sento have started to acquire a retro cachet among a younger crowd. In 2019 the number of sento-goers in Tokyo grew (albeit marginally) for the first time in more than a decade.

Japan's earliest public baths were attached to Buddhist temples, but the sento really took off in the dense, dirty environments of Tokyo and its precursor, Edo. Their primary appeal was practical: even as Tokyo prepared to host the Olympics in 1964, only around a third of its homes had bathing facilities. But sento also came to play an important role as common spaces that bring together people from different walks of life.

As private showers and baths proliferated—at least 98% of homes in Tokyo now have them—the sento started to dry up. As in lots of Japan's traditional industries, many owners resisted change. With an ageing clientele, the equally elderly proprietors often decide to call it quits. "It's becoming increasingly difficult for bathhouses to survive just as bathhouses alone," says Kuryu Haruka of *Sento & Neighbourhood*, which works to preserve old bathhouses.

Younger devotees reckon that sento must instead focus on fostering their communities, with a contemporary spin. After taking over Ume-yu, a historic sento in Kyoto, Minato Sanjiro attracted new clients by hosting concerts and flea markets at the bathhouse and by advertising online. His customer base grew from 70 people a day to around 250 before the pandemic hit. Whereas as many as 80% of the bathers were once senior citizens, now some 60% are in their 20s and 30s. Inari-yu is building a community space in an adjacent building, which will function as a lounge for bathers as well as a place for communal meals

and exhibitions.

Others have opted for hipster makeovers. The third-generation owners of the 90-year-old Kogane-yu in eastern Tokyo have remodelled the venerable bathhouse; it reopened last year as a sleek modern space with a craft-beer bar and vinyl turntables.

Such changes can be divisive. Older regulars sometimes find the new bells and whistles alienating. Purists worry that turning sento into hipster haunts will ruin their democratic charm. “If you go too far in creating a new style, the idea of sento will be destroyed,” says Mr Minato. “But if we don’t change, the sento won’t survive.”

1. The number of sento in Tokyo has reduced to about one-fifth of the number back in the 1960s, but sento fans are trying to keep them filled with people in the 21st century.
2. Sento in Tokyo have become less and less popular in the last 60 years, and the number of people who use them has continued to decline to this day.
3. As the people who use sento have become older, the owners of sento, although they are much younger than the sento-goers, have decided to close their businesses.
4. Minato Sanjiro has made Ume-yu, which used to be a sento in Kyoto, into a public venue for concerts and flea markets, and the customer base has grown significantly.
5. Making contemporary changes has not only attracted younger customers to sento but also has been shown to have the inevitable effect of uniting the new generation of sento users with the traditional users.

[No. 74] Select the appropriate combinations of words to fill in the blanks of the following passage.

At present steel making (A) about 8 per cent of the carbon dioxide (B) into the atmosphere, making it as (C) to the climate as the world's car fleet. Steel production is (D) to triple by 2050, and current steel making processes would use up about half the budget of carbon dioxide we can still (E) into the atmosphere before we cause 1.5 degrees of warming.

A	B	C	D	E
1. causes	spewed	bad	guessed	pass
2. constitutes	thrown	detrimental	thought	leave
3. creates	released	damaging	expected	emit
4. forms	surrendered	harmful	predicted	put
5. produces	transmitted	restricted	anticipated	send

[No. 75] Select the sentence which is grammatically correct.

1. She was furious when she found out he had been spying her.
2. The teacher had to tell the answer for the students several times.
3. Very few people have the charisma needed to be a good leader.
4. The movie was so complicating that he just couldn't understand it.
5. Let's go with me to see that new play I heard about in the news.

No. 76～No. 80 は英語(一般)です。

解答は、問題番号に該当する答案用紙の番号欄に記入してください。

[No. 76] Select the statement which best corresponds to the content of the following passage.

Three to four days a week, for one or two hours at a time, Rosie Okumura, 35, telephones thieves and messes with their minds. For the past two years, the LA-based voice actor has run a sort of reverse call centre, deliberately ringing the people most of us hang up on—scammers who pose as tax agencies or tech-support companies or inform you that you’ve recently been in a car accident you somehow don’t recall. When Okumura gets a scammer on the line, she will pretend to be an old lady, or a six-year-old girl, or do an uncanny impression of Apple’s virtual assistant Siri. Once, she successfully fooled a fake customer service representative into believing that she was Britney Spears. “I waste their time,” she explains, “and now they’re not stealing from someone’s grandma.”

Okumura is a “scambaiter” —a type of vigilante who disrupts, exposes or even scams the world’s scammers. While scambaiting has a troubled 20-year online history, with early forum users employing extreme, often racist, humiliation tactics, a new breed of scambaiters are taking over TikTok and YouTube. Okumura has more than 1.5 million followers across both video platforms, where she likes to keep things “funny and light.”

In April, the then junior health minister Lord Bethell tweeted about a “massive sudden increase” in spam calls, while a month earlier the consumer group *Which?* found that phone and text fraud was up 83% during the pandemic. In May, Ofcom warned that scammers are increasingly able to “spoof” legitimate telephone numbers, meaning they can make it look as though they really are calling from your bank. In this environment, scambaiters seem like superheroes—but is the story that simple? What motivates people like Okumura? How helpful is their vigilantism? And has a scambaiter ever made a scammer have a change of heart?

Batman became Batman to avenge the death of his parents; Okumura became a scambaiter after her mum was scammed out of \$500. In her 60s and living alone, her mother saw a strange pop-up on her computer one day in 2019. It was emblazoned with the Windows logo and said she had a virus; there was also a number to call to get the virus removed. “And so she called and they told her, ‘You’ve got this virus, why don’t we connect to your computer and have a look.’” Okumura’s mother granted the scammer remote access to her

computer, meaning they could see all of her files. She paid them \$500 to “remove the virus” and they also stole personal details, including her social security number.

Thankfully, the bank was able to stop the money leaving her mother’s account, but Okumura wanted more than just a refund. She asked her mum to give her the number she’d called and called it herself, spending an hour and 45 minutes wasting the scammer’s time. “My computer’s giving me the worst vibes,” she began in Kim Kardashian’s voice. “Are you in front of your computer right now?” asked the scammer. “Yeah, well it’s in front of me, is that... that’s like the same thing?” Okumura put the video on YouTube and since then has made over 200 more videos, through which she earns regular advertising revenue (she also takes sponsorships directly from companies).

“A lot of it is entertainment—it’s funny, it’s fun to do, it makes people happy,” she says when asked why she scambaits. “But I also get a few emails a day saying, ‘Oh, thank you so much, if it weren’t for that video, I would’ve lost \$1,500.’” Okumura isn’t naive—she knows she can’t stop people scamming, but she hopes to stop people falling for scams. “I think just educating people and preventing it from happening in the first place is easier than trying to get all the scammers put in jail.”

She has a point—in October 2020, the UK’s national fraud hotline, run by City of London Police-affiliated Action Fraud, was labelled “not fit for purpose” after a report by Birmingham City University. An earlier undercover investigation by the *Times* found that as few as one in 50 fraud reports leads to a suspect being caught, with Action Fraud frequently abandoning cases. Throughout the pandemic, there has been a proliferation of text-based scams asking people to pay delivery fees for nonexistent parcels—one victim lost £80,000 after filling in their details to pay for the “delivery.”

Asked whether vigilante scambaiters help or hinder the fight against fraud, an Action Fraud spokesperson skirted the issue. “It is important that people who are approached by fraudsters use the correct reporting channels to assist police and other law enforcement agencies with gathering vital intelligence,” they said via email. “Word of mouth can be very helpful in terms of protecting people from fraud, so we would always encourage you to tell your friends and family about any scams you know to be circulating.”

Indeed, some scambaiters do report scammers to the police as part of their operation. Jim Browning is the alias of a Northern Irish YouTuber with nearly 3.5 million subscribers who has been posting scambaiting videos for the past seven years. Browning regularly gets access to scammers’ computers and has even managed to hack into the CCTV footage of call centres in order to identify individuals. He then passes this information to the “relevant authorities” including the police, money-processing firms and internet service providers.

For Okumura, education and prevention remain key, but she's also had a hand in helping a scammer change heart. "I've become friends with a student in school. He stopped scamming and explained why he got into it. The country he lives in doesn't have a lot of jobs, that's the norm out there." The scammer told Okumura he was under the impression that, "Americans are all rich and stupid and selfish," and that stealing from them ultimately didn't impact their lives.

"At the end of the day, some people are just desperate," Okumura says. "Some of them really are jerks and don't care... and that's why I keep things funny and light. The worst thing I've done is waste their time."

1. Rosie Okumura has gotten scammers to return the money they took from people by pretending to be an old lady, Britney Spears, and a six-year-old girl.
2. Many scambaiters are now using extremism, humiliation, and racism on YouTube and TikTok in order to expose scammers.
3. Rosie Okumura decided to become a scambaiter after her mother lost \$500 to scammers who told her she had a virus on her computer.
4. Action Fraud has been criticized for having a very low rate of success in assisting in the arrest of suspects and for frequently abandoning cases.
5. Scambaiters usually work closely with the police to make sure that they have access to scammers' computers.

[No. 77] Select the statement which best corresponds to the content of the following passage.

You'll often hear naysayers telling people that if everyone simply stopped buying Bitcoin, it would drift into oblivion without anyone noticing. They are also fond of saying that Bitcoin is nothing more than a fad or a bubble bound to burst any day now. On the other hand, crypto enthusiasts have their own version of what Bitcoin really is and are happy to point out its benefits to non-believers on every occasion.

But what would actually happen if Bitcoin's value suddenly dropped to zero? Would it just hurt a small number of big investors around the globe, or would it start a total collapse of the financial system as we know it? To answer this question, we'll first analyze Bitcoin's current position in the global financial system.

Today, all cryptocurrencies' combined value stands at \$1.6 trillion. All this money—equivalent to the nominal GDP of Canada—is kept in 10 million digital wallets. Bitcoin alone accounts for \$848 billion of the total crypto market cap. It's the shift in the average Bitcoin investor's profile that has brought on this massive expansion. Initially, the investor base comprised early believers, developers who understood and possibly contributed to the technology behind the cryptocurrency, and a small number of risk-takers. But the situation changed once both ordinary people and large companies and institutions started cautiously accepting the reality of Bitcoin.

The adoption of Bitcoin and its underlying technology have such an influence on the market that investors such as major investment companies and hedge funds—previously associated exclusively with traditional financial markets—have also been drawn to the crypto market. Currently, institutions hold over 63% of trading by value, signaling that Bitcoin supporters have recently become much more deep-pocketed.

Even though some governments and regulators are still attempting to stop Bitcoin altogether, it's becoming evident that they won't be successful. Yes, Bitcoin's price might take an occasional dive due to their efforts, but Bitcoin and its underlying technology have proved time and again that these attempts are nothing but futile in the long run. Nowadays, with the support and user base Bitcoin has, it might be wiser for regulators to try and work with Bitcoin rather than to continue fighting windmills.

Some governments have already taken this approach. The shift toward working with Bitcoin and blockchain technology has started a chain reaction. Institutions are finding ways to incorporate Bitcoin in their processes or offerings to attract more Bitcoin enthusiasts as customers. Banks have already made several moves to offer crypto-trading to

appease the demand from their customers, and they are unlikely to halt these efforts as they gain significant traction.

Bitcoin is decentralized—and while big players can significantly impact its price, the chances of any small group of people driving Bitcoin to zero are next to impossible. Too many traders have algorithms set to automatically purchase Bitcoin when its price falls under a certain threshold. Additionally, at this point, too much is at stake for early enthusiasts to allow this to happen.

The early enthusiasts honestly believe Bitcoin can replace fiat currencies, and following that belief, they helped it take off the ground in the first place. Even when the price sinks nearly to the bottom of the ocean, this group doesn't sell. This group will also keep their Bitcoins for another reason—they are not losing much in Bitcoin's occasional dives. Considering the low initial price they purchased Bitcoin for when the project just began, they'll still be profiting from Bitcoin even if the price drops to \$100.

The fluctuations in Bitcoin's price and its notorious volatility are brought on by a different kind of investor—speculators. This group is in it simply for financial gain. A part of this group understands that the interest in Bitcoin drives the price up. The others treat it as a form of gambling. The gamblers abandon the ship at the first sign of trouble, driving the price to the ground, but more experienced speculators know better than to sell at that point. They know that once the price dips, new investors will jump on board, causing Bitcoin's price to soar again.

All this makes Bitcoin's collapse extremely unlikely; some would even argue—downright impossible. Nonetheless, we've decided to do a little thought experiment—our take on what would occur if Bitcoin suddenly lost all value.

You'll often hear financial analysts comparing Bitcoin to the tulip mania or the dot-com bubble. Some similarities certainly exist. It took Bitcoin just over two years to pass the \$1,000 mark and then three and a half years to double in 2017. Currently, it stands at roughly \$45,000, while Cisco's highest watermark in the dot-com bubble was a mere \$146.75.

The dot-com bubble eventually imploded, wiping out as much as \$5 trillion back in 2000. With Bitcoin's current market cap of \$848 billion, it's safe to assume that the stakes are already high enough to cause some ripples in the offline economy as well, but nothing comparable to the dot-com bubble: There simply isn't enough money tied up in Bitcoin. For now, at least.

At this point, too much is at stake for investors to allow Bitcoin to drop down to zero and disappear from the financial scene. It would take a series of highly improbable events to take place for Bitcoin to lose all its value and vanish, causing a recession dire enough to

impact everyone. Enthusiasts, miners, and crypto exchanges are all used to the price dives and know better than to sell. Having a fully decentralized, transparent payment system free of governmental control is just too tempting to be abandoned. It opens the door for many opportunities far beyond having yet another currency to trade with.

With Bitcoin and its underlying technology making its way into every aspect of the global economy, it's safe to say this cryptocurrency is here to stay.

1. Bitcoin has undergone a massive expansion despite the lack of interest from large companies and institutions.
2. Efforts by governments and regulators to stop Bitcoin are unlikely to have a long-term impact on the price, and some now know that there is little point in trying.
3. People who were interested in Bitcoin from the beginning will be likely to sell if the price drops below \$100 because they still make a profit.
4. Bitcoin has been compared with the dot-com bubble because it took three and a half years since its creation to reach \$2,000.
5. Because Bitcoin is a fully decentralized system that is free from government control, it is unlikely to be affected by recessions like other currencies.

[No. 78] Select the statement which best corresponds to the content of the following passage.

Young people may be nudged into carrying knives by the police, research has found, as a new count showed the Metropolitan police circulated more than 2,100 images of seized knives on Twitter in a year.

In the same period, three leading violent-crime prevention charities—Hope Collective, the Ben Kinsella Trust and Dwaynatics—circulated two images of knives between them, according to research by the Green party in the London assembly.

“It’s deeply worrying to see police sharing such frightening images of knives when the charities involved in reducing knife harm don’t do this at all,” said Caroline Russell, a Green party assembly member who sits on London’s police and crime committee. “The disparity of approach is staggering, with the mayor’s own violence reduction unit sharing no images of dangerous knives.”

According to the Greens, between July 2020 and August 2021, images of knives were published 612 times by Met borough accounts, 229 times by the Met taskforce, 82 times by the roads and transport command, 16 times by the firearms command and 15 times by the main Metropolitan Police Service account.

Based on the average number of knife images posted by a sample of ward accounts from various boroughs, they estimated that local policing teams published a total of 1,176 images of knives.

There has been a long-running debate around sharing images of weapons on social media. The Met says it publishes pictures of seized weapons to reassure the public that its officers are committed to tackling violent criminals.

“We aim to include images of our officers in action showing the breadth of policing, alongside any images of weapons,” a spokesperson said. “This is not always possible. We always include wording which explicitly discourages weapon carrying and violence to accompany any imagery.”

Critics have said the images contribute to a sense that the carrying of weapons is widespread. At a youth violence summit in London, an adviser to the city’s violence reduction unit said photos of blades could prompt young people to consider “upgrading tools.”

That assessment seems to be backed by research published as a pre-print this month that suggests knife seizure images “potentially encourage knife-carrying.” Young people in Glasgow shown images of seized knives told researchers led by the University of Strathclyde

that they thought the pictures contributed to a climate of fear and perpetuated negative stereotypes of certain groups and areas—although all said they were personally opposed to knife-carrying.

Dr Charlotte Coleman, a psychologist at Sheffield Hallam University who was involved in the study, said the researchers questioned young people in high- and low-crime areas. “For those young people that were living in high-crime areas, they felt quite stigmatised by the volume of knife imagery that was flooding their area,” she said.

Such images had the potential to frighten susceptible young people into carrying knives for self-defence, but equally others could be excited by them, prompting them to carry a knife because they thought doing so was “cool”, Coleman said.

Regarding the Met’s use of images of seized knives, she said: “I find it concerning that so many images are used. It’s not just the 2,100 times that they are posted by the police, because they are posted and reposted. So, actually, the exposure becomes amplified by the number of shares.” People more worried or excited by knives were more likely to share, she suggested.

There was a 31% year-on-year fall in knife offences recorded in London from January to March, 2021. But an increase in the severity of attacks led to a rise in the number of killings by a quarter, and police have warned London could be on track for its worst year of young homicides since 2008.

A Met spokesperson said: “The Met is an evidence-driven organisation, and that extends to the way in which we communicate with Londoners. We look forward to the results of this research being published in the coming months, which will help inform our approach moving forward.”

1. Over the course of a year, the Metropolitan police published on Twitter over two thousand times the number of images of knives used in crime than the charities associated with preventing crime did combined.
2. Both the Met and the Greens agree that publishing pictures of seized weapons reassures the public that the police are striving to reduce crime.
3. Young people in Glasgow who were shown pictures of knife seizure images believed that they encouraged them to carry knives.
4. Many people could become more worried or excited by the images posted by the Met, which is now preventing them from being reposted by others.
5. Although there was a decrease in knife offences in the first three months of 2021 compared to the same period in 2020, the severity of attacks has increased.

[No. 79] Select the statement which best corresponds to the content of the following passage.

What makes for a good trivia question? There are some common-sense requirements. It should be clearly written, accurate, and gettable for at least some people. (Acceptable degrees of difficulty vary.) It must be properly “pinned” to its answer, meaning that there are no correct responses other than those the questioner is seeking. (This can be trickier than you might think.) In the opinion of Shayne Bushfield, the creator and sole full-time employee of LearnedLeague, an online trivia community that he has run since 1997, people should recognize the answer to the question as something worth knowing, as having a degree of importance. “Trivia is not the right word for it,” he told me recently. “Because trivia technically means trivial, or not worth knowing, and it’s the opposite.”

The idea that the answers to trivia questions are worth knowing is a matter of some debate, and has been more or less since trivia itself was born. The pop-culture pastime of quizzing one another on a variety of subjects as a kind of game is fundamentally a phenomenon of the past hundred years or so: its first appearance as a fad seems to date to 1927, when “Ask Me Another! The Question Book” was published. As the “Jeopardy!” champion Ken Jennings notes in his book “Brainiac,” “Ask Me Another” was written by “two out-of-work Amherst alumni” living in Manhattan, who “were shocked to find that, despite their fancy new diplomas and broad liberal educations, the job world wasn’t beating a path to their door.” Their book was a hit, and newspapers began running quiz columns, a follow-up of sorts to the national crossword craze of a couple of years before. Quiz shows came to radio and television about a decade later. But none of these games were called trivia until a pair of Columbia undergraduates, in the mid-sixties, shared their version of the game, first in the school’s *Daily Spectator* and later in their own popular quiz book, which really did prize the trivial: the name of the Lone Ranger’s nephew, the name of the snake that appeared in “We’re No Angels,” and so on. This version of trivia was all about the stuff one had read, listened to, or watched as a kid, and its appeal, according to one of the Columbia pair, was concentrated among “young adults who on the one hand realize they have misspent their youth and yet, on the other hand, do not want to let go of it.” The purpose of playing, he explained, was experiencing the feeling produced when an answer finally came to you, “an effect similar to the one that might be induced by a pacifier.”

Presumably, it has always been satisfying to know things, but the particular pleasure of trivia seems to depend on two relatively recent developments: the constant relaying of new information (i.e., mass media) and the mass production of people who learn a lot of things they don’t really need to know. (College attendance began steadily rising in the nineteen-twenties, before booming after the Second World War.) It is sometimes asked whether the popularity of trivia will diminish in the age of Google and Siri, but those earlier

developments have only accelerated, and trivia seems, if anything, more popular than ever. In contrast to the mindless ease of looking up the answer to a question online, there's a gratifying friction in pulling a nearly forgotten fact from your own very analog brain.

Bushfield writes and delivers nearly six hundred and fifty trivia questions to LearnedLeague players every year, distributed over the course of four twenty-five-day seasons. In his view, the last component of a truly excellent trivia question, after accuracy and importance, is that it offers multiple ways to come up with the answer. Such questions have an element of noodling that results in a wave of delight at the eureka moment. For instance: "A book from 2013 by design expert Jude Stewart is subtitled *An Exceedingly Surprising Book About Color*. What is this book's main title, which is the name of a made-up person also associated tangentially with the pattern that appears on the LGBT pride flag? *Note, full name with middle initial required.*"

With this type of question, Bushfield told me, he wants to make it seem almost as though he's at your side, saying, "You can figure this out, you know this, don't get discouraged!" He tries to calibrate his questions such that LearnedLeague's collective batting average will be just below fifty per cent; that way, he has said, "really good players still are challenged occasionally, and the very bottom players still get some right."

One can easily despair at the amount of information we are exposed to every day and at the amount of stuff we forget. Trivia, when it's done well, offers little moments of mastery, in the form of a game—often one with low individual stakes or none at all. (There are no cash prizes in LearnedLeague.) In Bushfield's conception, trivia is a more generous game than it sometimes gets credit for; it prizes curiosity and reminds us that the world is much bigger than our immediate personal concerns. Perhaps the detail in a question doesn't matter to you, but it may very well be important to some other set of people—and thus, arguably, it should have value for the rest of us.

1. Everyone agrees that a good trivia question must be about something worth knowing, and therefore "trivia" is actually not the right name for it.
2. Radio and television quiz shows began using the word "trivia" in their titles, about ten years after a book called "Ask Me Another! The Question Book" was published.
3. The popularity of trivia will certainly diminish in the age of Google and Siri, because there is not much pleasure in trying to figure out the answers that can easily be found online.
4. According to Bushfield, the creator of LearnedLeague, there are only two important qualities of truly excellent trivia questions, namely accuracy and importance.
5. Bushfield thinks that trivia offers much more than people normally think, and it reminds us that there is much more in the world beyond one's immediate personal concerns.

[No. 80] Select the statement which best corresponds to the content of the following passage.

The great hope of the 1990s and 2000s was that the internet would be a force for openness and freedom. As Stewart Brand, a pioneer of online communities, put it: “Information wants to be free, because the cost of getting it out is getting lower and lower all the time.” It was not to be. Bad information often drove out good. Authoritarian states co-opted the technologies that were supposed to loosen their grip. Information was wielded as a weapon of war. Amid this disappointment one development offers cause for fresh hope: the emerging era of open-source intelligence (OSINT).

New sensors, from humdrum dashboard cameras to satellites that can see across the electromagnetic spectrum, are examining the planet and its people as never before. The information they collect is becoming cheaper. Satellite images cost several thousand dollars 20 years ago, today they are often provided free and are of incomparably higher quality. A photograph of any spot on Earth, of a stricken tanker or the routes taken by joggers in a city is available with a few clicks. And online communities and collaborative tools, like Slack, enable hobbyists and experts to use this cornucopia of information to solve riddles and unearth misdeeds with astonishing speed.

Such an emancipation of information promises to have profound effects. The decentralised and egalitarian nature of OSINT erodes the power of traditional arbiters of truth and falsehood, in particular governments and their spies and soldiers. For those like this newspaper who believe that secrecy can too easily be abused by people in power, OSINT is welcome. The likelihood that the truth will be uncovered raises the cost of wrongdoing for governments. Liberal democracies will also be kept more honest. Citizens will no longer have to take their governments on trust. News outlets will have new ways of holding them to account.

Some will warn that OSINT threatens national security. But, if OSINT can tell the world about such things, a country’s enemies are already able to know them. Pretending otherwise does not make states any safer. Others will point out that OSINT can be wrong. After the Boston Marathon bombing in 2013 internet users scrutinised the crime scene and identified several suspects. All were innocent bystanders. Or OSINT could be used by bad actors to spread misinformation and conspiracy theories.

However, every source of information is fallible and the scrutiny of imagery and data is more empirical than most of them. Hence, when OSINT is mistaken or malign, competing OSINT is often the best way to put the record straight. And over time, researchers and

investigators can build a reputation for honesty, sound analysis and good judgment, making it easier for people to distinguish trustworthy sources of intelligence from charlatans. The greatest worry is that the explosion of data behind open-source investigations also threatens individual privacy. The privacy of individuals in a digital age is fraught with trade-offs. At the level of states and organisations, however, OSINT promises to be a force for good. It is also unstoppable.

This is a future that open societies would be wise to embrace. Tools and communities that can unearth missile silos and unveil spies will make the world less mysterious and a little less dangerous. Information still wants to be free—and OSINT is on a mission to liberate it.

1. The internet could not become a force for openness and freedom as people once hoped in the 1990s and 2000s, and it is disappointing that the internet will now be used for open-source intelligence (OSINT).
2. The decentralised and egalitarian nature of OSINT makes it susceptible to being abused by governments and their spies and soldiers, thereby further strengthening their powers.
3. There may be concerns that OSINT will undermine national security, but if OSINT is able to disclose such information, the adversaries of a country would already be in a position to access it.
4. OSINT can spread wrong or bad information, but there is no way for people to distinguish trustworthy sources from those that are not.
5. OSINT may be damaging to individual privacy, and therefore open societies are advised to resist the development of OSINT in the future.

G1-2022 行政 専門 (多肢選択式)

正答番号表

No	正答	No	正答	No	正答
1	1	31	2	61	2
2	4	32	1	62	1
3	3	33	3	63	4
4	2	34	4	64	2
5	4	35	4	65	4
6	3	36	1	66	5
7	2	37	3	67	3
8	4	38	5	68	2
9	5	39	2	69	4
10	3	40	4	70	1
11	2	41	5	71	2
12	2	42	5	72	3
13	3	43	1	73	1
14	3	44	4	74	3
15	5	45	5	75	3
16	4	46	1	76	4
17	1	47	4	77	2
18	4	48	4	78	5
19	3	49	5	79	5
20	4	50	2	80	3
21	1	51	4		
22	5	52	5		
23	4	53	5		
24	1	54	1		
25	4	55	4		
26	5	56	3		
27	1	57	4		
28	3	58	5		
29	2	59	1		
30	5	60	2		